

# 第5章 地域別構想

5-1 地域区分の考え方

5-2 海津地域

5-3 平田地域

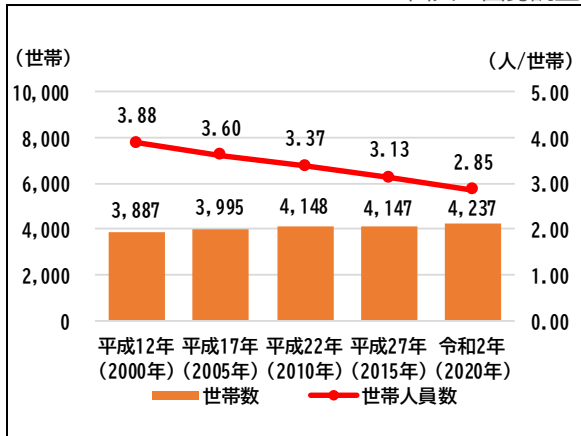
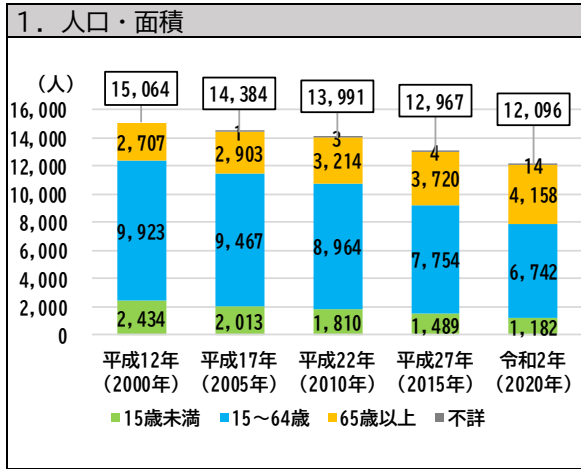
5-4 南濃地域





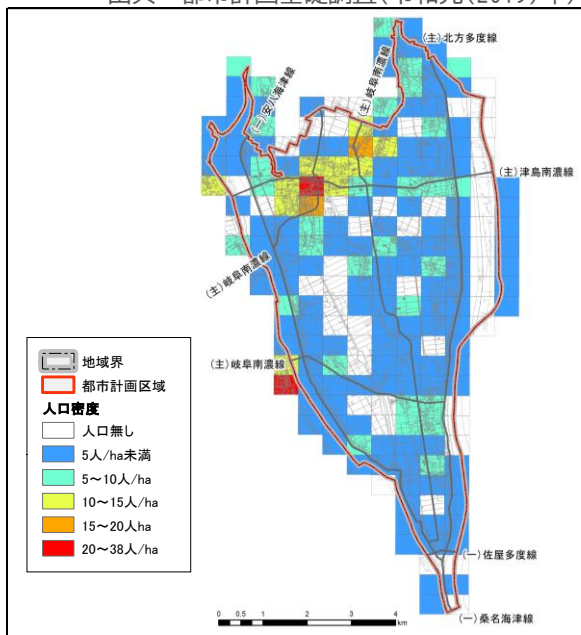
## 5-2 海津地域

### (1) 地域の特徴 (※検討時点での最新データを使用しています。)



|         |           |
|---------|-----------|
| 面積      | 4,421 ha  |
| 可住地面積   | 3,083 ha  |
| 人口密度    | 2.74 人/ha |
| 可住地人口密度 | 3.92 人/ha |

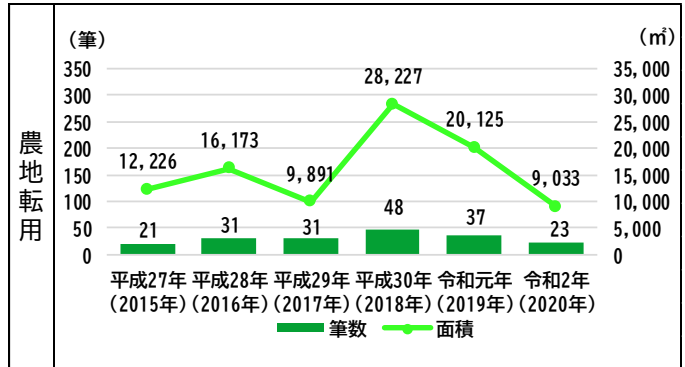
出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)



2. 市街化動向

|            | 件数 (件) | 面積 (㎡)    |
|------------|--------|-----------|
| 住宅用地       | 0      | 0.00      |
| 商業用地       | 0      | 0.00      |
| 工業用地       | 1      | 21,034.10 |
| 観光レクリエーション | 0      | 0.00      |
| その他        | 1      | 3,962.57  |
| 合計         | 2      | 24,996.67 |

出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)



3. 建物利用

|       | 棟数 (棟)    | 建築面積 (㎡)  | 延床面積 (㎡)  |         |
|-------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 住居系   | 住宅        | 10,961    | 683,022   | 938,913 |
|       | 共同住宅      | 100       | 11,040    | 20,725  |
|       | 店舗等併用住宅   | 342       | 22,040    | 32,815  |
|       | 店舗等併用共同住宅 | 6         | 595       | 1,195   |
|       | 作業所併用住宅   | 109       | 8,190     | 10,954  |
| 小計    | 11,518    | 724,887   | 1,004,602 |         |
| 商業系   | 業務施設      | 189       | 20,187    | 26,671  |
|       | 商業施設      | 360       | 40,295    | 54,910  |
|       | 宿泊施設      | 2         | 539       | 1,493   |
|       | 商業系用途複合施設 | 0         | 0         | 0       |
| 小計    | 551       | 61,021    | 83,074    |         |
| 工業系   | 運輸倉庫施設    | 496       | 124,686   | 152,070 |
|       | 工場        | 759       | 178,788   | 204,921 |
|       | 農林漁業用施設   | 1,819     | 427,920   | 431,234 |
|       | 供給処理施設    | 80        | 9,615     | 16,404  |
|       | 防衛施設      | 0         | 0         | 0       |
|       | その他       | 4         | 443       | 588     |
| 小計    | 3,158     | 741,452   | 805,217   |         |
| 公共施設系 | 官公庁施設     | 83        | 8,877     | 16,969  |
|       | 文教厚生施設    | 1,068     | 132,031   | 203,586 |
| 小計    | 1,151     | 140,908   | 220,555   |         |
| 合計    | 16,378    | 1,668,268 | 2,113,448 |         |

出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)

| 4. 土地利用     |        |           |          |        |       |
|-------------|--------|-----------|----------|--------|-------|
|             |        |           | 面積 (ha)  | 構成比    |       |
| 自然的<br>土地利用 | 農地     | 田         | 1,945.44 | 44.0%  |       |
|             |        | 畑         | 166.02   | 3.8%   |       |
|             |        | 小計        | 2,111.46 | 47.8%  |       |
|             | 山林     |           | 2.56     | 0.1%   |       |
|             | 水面     |           | 781.28   | 17.7%  |       |
|             | その他自然地 |           | 574.17   | 13.0%  |       |
| 小計          |        |           | 3,469.47 | 78.5%  |       |
| 都市的<br>土地利用 | 宅地     | 住宅用地      | 252.84   | 5.7%   |       |
|             |        | 商業用地      | 25.56    | 0.6%   |       |
|             |        | 工業用地      | 64.34    | 1.5%   |       |
|             |        | 小計        | 342.74   | 7.8%   |       |
|             | その他    | 農林漁業施設用地  | 86.78    | 2.0%   |       |
|             |        | 公共施設用地    | 73.76    | 1.7%   |       |
|             |        | 道路用地      | 330.79   | 7.5%   |       |
|             |        | 公共施設用地    | 9.01     | 0.2%   |       |
|             |        | 公共空地      | 44.97    | 1.0%   |       |
|             |        | その他公的施設用地 | 0.00     | 0.0%   |       |
|             |        | その他空地     | 63.48    | 1.4%   |       |
|             | 小計     |           |          | 608.79 | 13.8% |
|             | 小計     |           |          | 951.53 | 21.5% |
| 合計          |        |           | 4,421.00 | 100.0% |       |

出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)

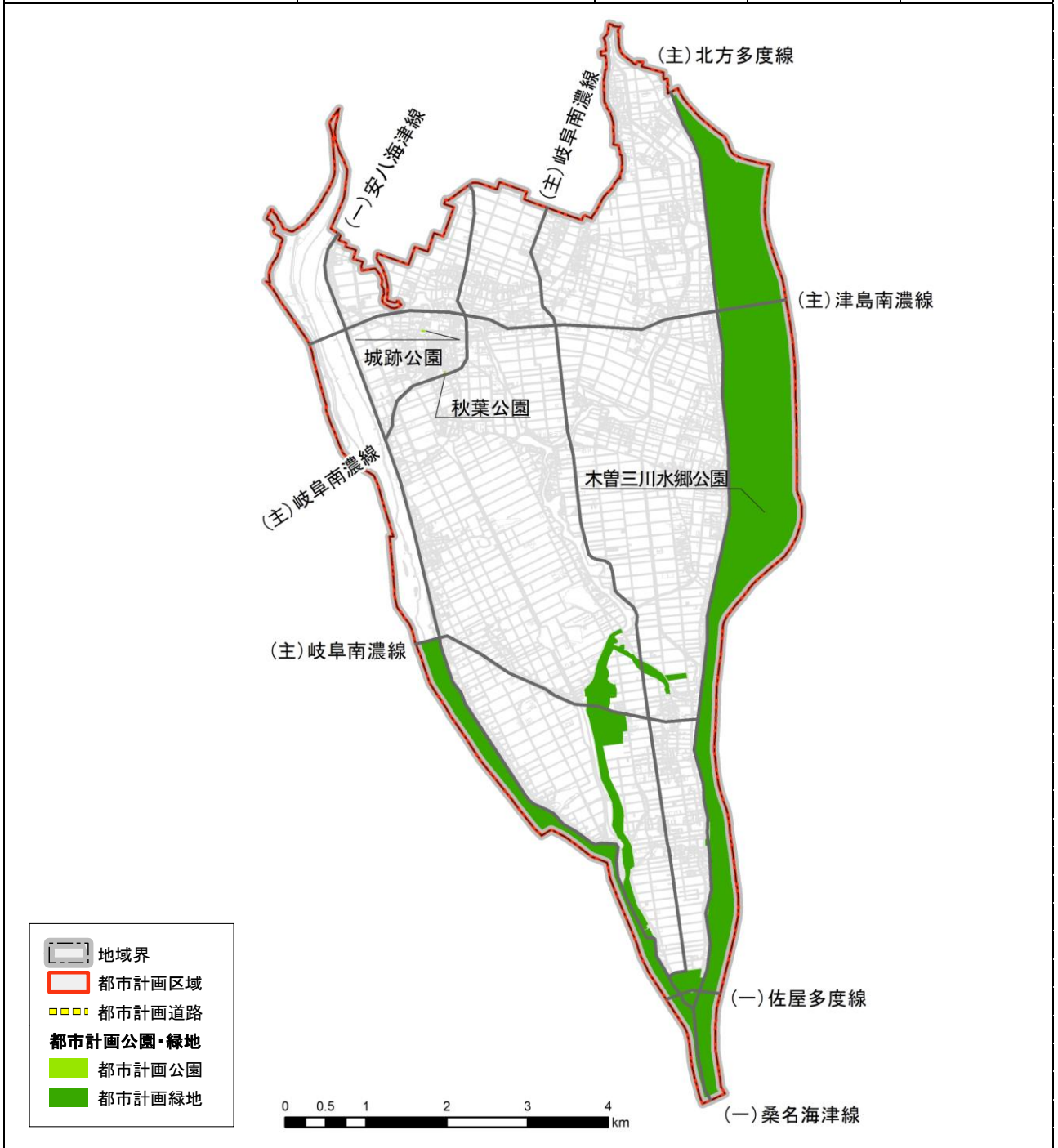
4. 土地利用



出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)



| 5. 都市計画道路・公園・緑地  |           |         |             |           |
|--|-----------|---------|-------------|-----------|
| 都市計画道路   |           |         |             |           |
| 決定年月日  | 名称        | 計画 (m)  | 事業中 (m)     | 整備済み (m)  |
| -  | -         | -       | -           | -         |
| 都市計画公園   |           |         |             |           |
| 決定年月日  | 名称        | 計画 (ha) | 事業中 (ha)    | 整備済み (ha) |
| 昭和57(1982)年3月25日   | 2・2・1城跡公園 | 0.12    | -           | 0.12      |
| 昭和58(1983)年3月23日   | 2・2・2秋葉公園 | 0.14    | -           | 0.14      |
| 都市計画緑地   |           |         |             |           |
| 決定年月日  | 名称        | 計画 (ha) | 事業計画面積 (ha) | 供用面積 (ha) |
| 昭和57(1982)年10月20日<br>平成8(1996)年10月18日<br>平成25(2013)年1月15日<br>平成30(2018)年 | 1木曾三川水郷公園 | 860.6   | 132.0       | 88.8      |



出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)、木曾川下流河川事務所資料(令和4(2022)年)

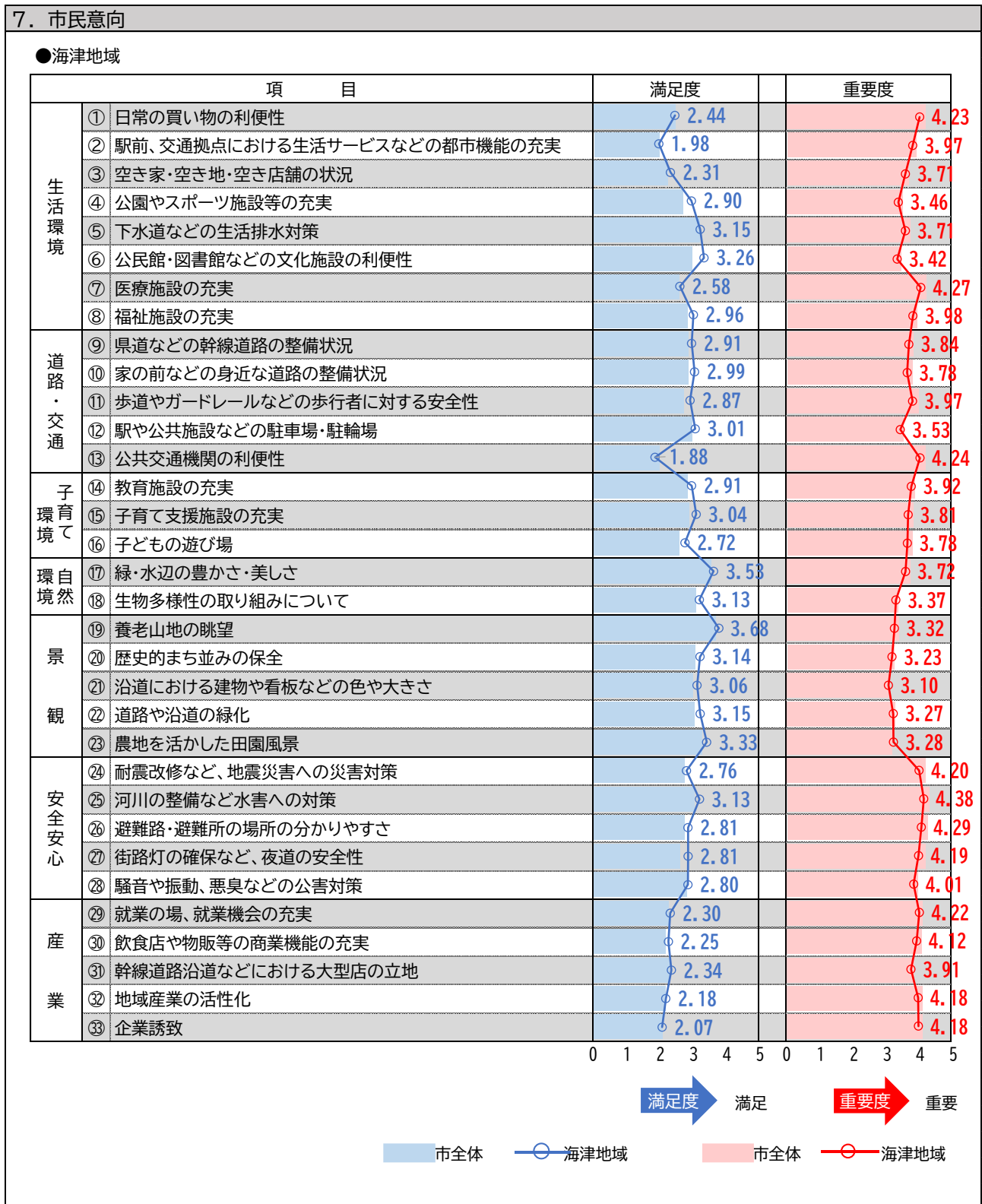
# 海津市都市計画マスタープラン

| 6. 都市施設  |   |
|----------|---|
| 都市公園     | 街区公園13施設                                |
| 行政機関     | 2施設                                     |
| 警察署・消防署等 | 警察署1施設、消防署1施設、防災センター1施設                 |
| 学校・教育施設  | 保育園・こども園3園、小学校5校、中学校1校、高等学校1校<br>その他1施設 |
| 医療施設     | 12施設                                    |
| 福祉施設     | 4施設                                     |
| 文化財      | 国指定文化財1件、市指定文化財10件                      |
| その他都市施設  | 下水道2施設、水源地・浄水場2施設                       |



出典：海津市都市公園条例(令和元(2019)年)、市の資料(令和3(2021)年)  
国土数値情報(令和2(2020)年)、都市計画基礎調査(令和元(2019)年)





## (2) 地域の課題

### ■土地利用の課題

- 市役所周辺では、都市機能や居住の集約により、近隣生活拠点の形成を図る必要があります。
- 地域地区の指定による計画的な土地利用を検討する必要があります。
- 国営木曾三川公園や海津温泉周辺は、観光交流拠点として活用を図る必要があります。
- 農業生産・環境保全・治水等の観点から、農業生産基盤を保全する必要があります。

### ■道路・交通体系の課題

- 新架橋の整備等により、名古屋方面との広域道路ネットワークを強化する必要があります。
- 平田地域や南濃地域の近隣生活拠点との地域間道路ネットワークを形成する必要があります。
- 高齢化社会における移動手段を確保する必要があります。
- 地域に5校ある小学校が1校に統合されることを踏まえ、遠方から通う児童の通学手段を確保する必要があります。
- 安心して子育てができる道路空間を形成する必要があります。

### ■水と緑の課題

- 長良川や揖斐川、大江川をはじめとする河川や市内に点在する池沼では、親水環境を形成する必要があります。

### ■生活基盤整備の課題

- 下水道施設及び合併処理浄化槽等、効率的な污水处理施設の整備が必要です。
- 上下水道施設の適切な維持管理及び計画的な施設の更新・耐震化を図る必要があります。
- ごみ・し尿等の各種処理施設の維持管理を図る必要があります。

### ■自然環境の保全と景観形成の課題

- 地域内に残る歴史的・文化的な資源を活用するとともに、その魅力を発信する必要があります。
- 地域特有の景観を保全・活用する必要があります。

### ■都市防災・災害対策の課題

- 長良川・揖斐川浸水想定区域内での開発にあたっての防災対策の促進を検討する必要があります。
- 老朽空家や狭隘道路・区間を解消する必要があります。
- 災害時に機能する避難場所・避難所を確保する必要があります。
- 災害時における道路ネットワークを維持・強化する必要があります。

### (3) 地域の将来像と地域づくりの目標(ビジョン)

#### 【海津地域の将来像】

市役所周辺は、中学校や文化センター、図書館、歴史民俗資料館といった文化施設等、市の中心的な拠点機能が集積しており、それらを中心に居住集積地が広がっています。

また、その他の田園地帯では、農業集落地や河川・池沼により、水郷風景が形成されています。

しかし、木曽川・長良川により名古屋方面との地理的な分断があります。新架橋の整備等による分断の解消及びアクセス強化が重要な課題となっています。

以上を踏まえ、市役所周辺へ都市機能や居住機能を誘導しつつ、地域に広がる農地や地域を流れる河川や池沼による水郷風景の保全・魅力向上を図るとともに、名古屋方面とのアクセスを強化することとして、次の将来像を設定します。

#### 【海津地域の将来像】

### 名古屋方面との交通に優れた都市と田園が共存する水郷のまち

#### 【地域づくりの目標(ビジョン)】

##### 1 市役所周辺への拠点機能の集約

市役所周辺では、都市機能と居住の秩序ある計画的な土地利用誘導により、市の中心地としての拠点機能を充実させ、良好な市街地の形成を目指します。



##### 2 名古屋方面へのアクセス強化

(仮称)愛津大橋の整備により、木曽川・長良川で分断された名古屋方面とのアクセス強化等を図り、広域道路ネットワークの強化を目指します。



##### 3 河川・池沼での親水空間の創出

長良川・揖斐川・大江川等の河川沿岸で親水環境を形成するとともに、地域に点在する池沼をビオトープとして保全・活用し、水郷のまちとしての魅力の向上を目指します。



(4) 地域づくりの方針

| 土地利用の方針   | 対応目標   |
|---|--|
| <p><b>【市役所周辺への機能の集約】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 居住集積地では、都市基盤の改良・整備や地域地区の指定、空家・空地対策、周辺環境及び防災面での立地条件に配慮した住宅地開発による良好な市街地形成を図ります。</li> <li>□ (主)津島南濃線沿道では、近隣型商業機能や日常的な社会生活サービス機能の維持と立地誘導を図ります。</li> <li>□ 市役所周辺の文教施設が連坦する一帯では、大江川と合わせ交流の機能・空間の充実に努めます。</li> </ul> <p><b>【産業の維持・強化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 千本松原・国営木曾三川公園や海津温泉、アクアワールド水郷パークセンターでは、日帰り観光中心の形態から周遊・滞在型観光へ転換します。そのため、商業系の土地利用誘導等を検討するとともに、平田地域や南濃地域の観光拠点との公共交通ネットワークの強化を推進します。</li> <li>□ 田園地帯では、農地の保全に努めます。</li> <li>□ スマート農業に対応した営農基盤の整備に努めます。</li> </ul> <p><b>【水郷のまちとしての魅力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 長良川や揖斐川、大江川及び田園共生ゾーンに分布する小河川・池沼では、憩いと交流の促進に向けた土地利用に努めます。</li> <li>□ 田園地帯に点在する既存集落では、6次産業化やスマート農業の就業スタイルを促進するとともに、生活環境・機能の維持・再整備を図ります。</li> <li>□ 個別で立地が進む小規模な工業系施設については、周辺の自然環境や営農環境との調和に努めます。</li> </ul> | <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 5px;">1</div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">3</div> |

| 道路・交通体系の方針  | 対応目標   |
|---|--|
| <p><b>【都市間幹線道路の整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 周辺都市と形成する広域的な生活圏の連携に向け、都市間幹線道路ネットワークの充実に目指します。</li> <li>□ (仮称)愛津大橋の早期実現を「木曾川・長良川新架橋促進協議会」を通じて各県に働きかけるとともに、(仮称)安江日原線の都市計画決定を検討します。</li> <li>□ (主)岐阜南濃線について、拡幅整備や歩車分離(歩道設置)、交差点改良(右折レーンの設置)等に努めます。</li> <li>□ 堤防道路を含む(主)北方多度線や(主)岐阜南濃線、(一)安八海津線、(一)桑名海津線では、堤防の嵩上げ整備に合わせ、拡幅等の機能強化を求めています。</li> </ul> | <div style="background-color: #990000; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">2</div> |

**【地域間幹線道路の整備】**

- 近隣生活圏(海津、平田、南濃)を結ぶ地域間幹線道路ネットワークの形成に努めます。
- (一)木曾三川公園線、(一)津島立田海津線の改良・整備を促進します。
- 海津 11010 号線の整備を推進します。

**【生活道路の整備】**

- 狭隘道路の解消、道路反射鏡や防護柵等の交通安全施設の設置に努めます。

**【公共交通ネットワークの維持・充実】**

- 市民需要や観光客需要等に対応した路線設定や定刻運行に努めるとともに、バスロケーションシステムの導入や経路検索サービスの拡充を推進します。
- 小学校統合により、遠方から通わざるを得ない児童の通学手段を確保します。
- 必要に応じて、スクールバスの混乗化による効率的な地域公共交通の運営に努めます。
- デマンド交通では、最先端技術の活用による利便性の高いサービスの整備を検討します。
- 名古屋方面に向かう鉄道駅に接続するアクセスバスの運行を検討します。

**【脱炭素社会の推進】**

- 自動車依存社会からの脱却による CO<sub>2</sub> の排出量削減に努めます。
- EV 等のガソリンに頼らない公用車の導入を推進します。

**水と緑の方針****対応目標****3****【水と緑あふれる親水空間の創出】**

- 国営木曾三川公園では、市民のスポーツ・レクリエーション空間や環境学習の場としての活用に向け、適切な運営(利用)と維持管理を促進するとともに、グリーンインフラとしての機能(雨水・流水貯留機能等)の向上を図ります。
- 河川敷に多く残る未利用地の有効活用を検討します。
- (仮称)大江緑道整備の事業促進とアクアワールド水郷パークセンターの適切な運営(利用)と維持管理の促進により、大江川全体の水辺空間の保全・再生を推進します。
- 千本松原県立自然公園での広域交流の促進に努めます。
- 未整備となっている都市計画公園の整備を促進します。

**【水圏生態系の保全】**

- 汚水処理施設の整備及び水洗化率の向上を図り、水辺空間の美化運動、市内に点在する池沼のビオトープとしての活用により、水圏生態系の保全を推進します。



【都市公園の充実】

□下表の都市公園では、親水性の高い都市環境の形成や身近な生活環境の充実に向け、多機能性に対応した整備・拡充や市民と連携した公園管理・運営、一時避難場所や救援物資集積拠点としての機能の充実に努めます。

| 種別   | 施設名  |
|------|--|
| 街区公園 | 松木公園、神桐公園、田中公園、鹿野公園、平原公園、城跡公園、殿町ポケットパーク、田外ノ池公園、大観池公園、秋葉公園、内記池公園、森下池公園、帆引下池公園 |

【身近な緑の確保】

□公共公益施設では、敷地内の緑地の維持管理に努めます。

生活基盤整備の方針

対応目標

1

【上下水道の整備】

□下水道施設や合併処理浄化槽の効率的な整備を推進し、水洗化率の向上に努めます。  
 □上下水道施設等の適切な維持管理に努め、計画的に施設の更新・耐震化を推進します。

| 種別        | 施設名                |
|-----------|--------------------|
| 公共下水道施設   | 海津浄化センター、西小島中継ポンプ場 |
| 水源地・浄水場施設 | 海津北部浄水場、海津南部浄水場    |

【処理施設の維持管理】

□下表の各種処理施設の維持管理に努めます。

| 処理対象     | 施設名                               |
|----------|-----------------------------------|
| 燃やせるごみ   | 南濃衛生施設利用事務組合 養老ドリームパーク（養老町）       |
| 燃やせないごみ  | 西南濃粗大廃棄物処理組合 西南濃粗大廃棄物処理センター（養老町）  |
| し尿・浄化槽汚泥 | 海津浄化センター、南濃衛生施設利用事務組合 衛生センター（養老町） |
| 陶磁器・がれき類 | 福江一般廃棄物最終処分場、今尾一般廃棄物最終処分場         |

## 自然環境の保全と景観形成の方針

## 対応目標

3

## 【水郷風景の保全】

□地域に広がる水田や集落、小河川、池沼で構成する水郷風景を一体的に保全します。

## 【歴史的まちなみの継承】

□社寺や屋敷等、敷地を高くした石垣のまちなみが残る高須町では、魅力的な景観形成に向け、建築物の形態・意匠の統一等の促進を検討します。

## 都市防災・災害対策の方針

## 対応目標

2

## 【治水・治山事業の促進】

□長良川の浚渫や揖斐川の築堤・護岸改修、排水機の排水容量増強等の内水排除対策の促進に努めます。

□市が管理する準用河川・普通河川の河川改修を推進します。

□令和6(2024)年を目標に市管理河川530mを整備します。

□国や県が管理する河川は、目標とする治水安全度に応じて整備の促進に努めます。

## 【流域治水の実現】

□流域治水の考え方にに基づき、「木曾川水系長良川流域治水プロジェクト」や「木曾川水系揖斐川流域治水プロジェクト」の実現に努めます。

□ハード面の対策として、洪水氾濫・内水氾濫対策を行うとともに、河川敷のグリーンインフラとしての機能(雨水・流水の貯留機能等)の向上等に努めます。

□ソフト面の対策として、WEB アプリによる防災・避難情報の発信や自主防災組織に対する防災講話の継続に努めるとともに、防災教育や水防訓練を充実させ、避難体制の強化等を推進します。

## 【強靱な市街地の形成】

□海津市地域強靱化計画等に基づく取組を実施・促進しつつ、長期的視点で災害リスクが小さい安全な場所での都市機能の立地や居住の促進等について検討します。

□民間の住宅・建築物の耐震化・不燃化の促進や消火体制の整備に努めるとともに、老朽空家等の所有者に対し適切な管理や除却を求めています。

□狭隘道路・狭隘区間、行き止まり道路の解消及び2方向避難の確保等に努めます。

□防犯に配慮した公共施設の整備、防犯カメラ、防犯灯や街路灯の設置などを進め、防犯性の高い環境づくりに努めます。

【避難所・避難場所の充実】

- 水害時における垂直避難の確保に向け、小中学校(統廃合後の旧校舎を含む)等の公的な中層建築物の均衡ある配置を維持するほか、民間の中高層建築物の確保に努めます。
- 統廃合後に廃校となる小学校では、平常時は地域コミュニティ形成や地域の活性化・発展の場として活用するとともに、災害時の防災拠点としての活用も検討します。
- 既存の避難所等では、計画的に耐震化・不燃化等を実施していきます。
- 揖斐川左岸防災拠点の整備促進を働きかけます。
- 民間の高齢介護施設や障がい者施設等と災害連携協定を締結し、福祉避難所の拡充を図ります。

【災害時の道路ネットワークの確保】

- 避難路及び緊急輸送道路として、(仮称)愛津大橋の建設等を関係機関に働きかけていきます。
- 緊急輸送道路の拡幅等の機能強化及び緊急輸送道路区間における(一)木曾三川公園線の内記橋等、橋梁の維持管理の徹底や必要に応じた架け替えを促進します。
- 地震による避難経路分断のおそれがある危険箇所の把握に努めます。

【災害復興の円滑化】

- 自主防災組織の結成を推進し、被災時における体制や手順の明確化に努めるとともに、地域住民との協働による事前復興まちづくり計画の策定を検討します。

【地域づくり方針図】

- ◆ 土地利用の方針
- ◆ 道路・交通体系の方針
- ◆ 水と緑の方針
- ◆ 自然環境の保全と景観形成の方針
- ◆ 都市防災・災害対策の方針

- ◆ 憩いと交流の促進
- ◆ 未利用地の有効活用
- ◆ 長良川の浚渫
- ◆ 揖斐川の築堤・護岸改修

- ◆ 都市基盤の改良整備
- ◆ 地域地区の指定
- ◆ 空家・空地対策
- ◆ 計画的な住宅地開発
- ◆ 建築物の形態及び意匠の統一

- ◆ 近隣型商業機能と日常的な社会生活サービス機能の維持・誘導

- ◆ 文教施設群と大江川との一体となった交流機能・空間の充実

- ◆ 水辺空間の美化運動
- ◆ 池沼のビオトープとしての活用
- ◆ 水郷風景の保全

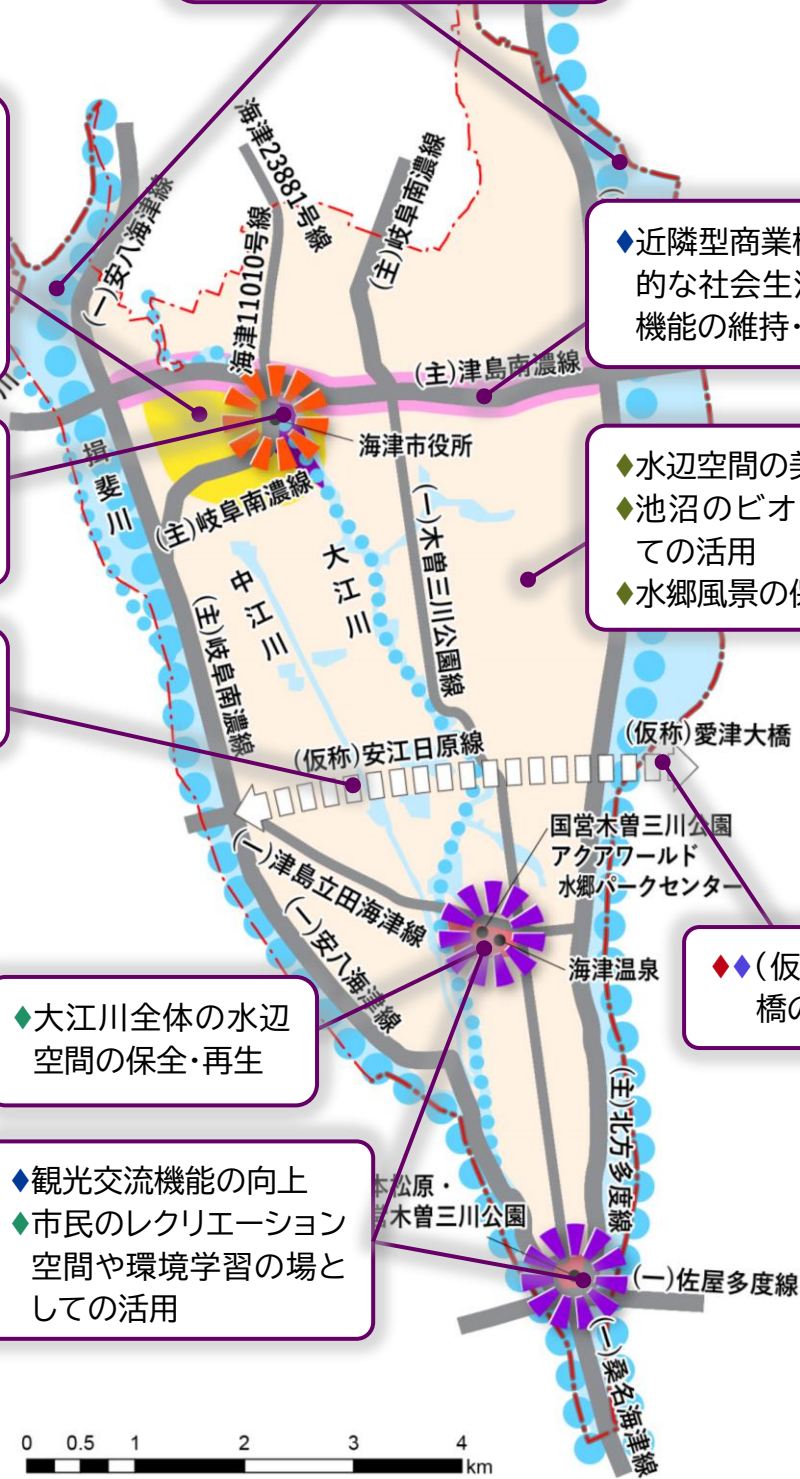
- ◆ (仮称)安江日原線の都市計画決定

| 凡 例 |              |
|-----|--------------|
|     | 都市計画区域       |
|     | 地域生活拠点       |
|     | 新生活拠点        |
|     | 産業拠点         |
|     | 観光交流拠点       |
|     | 鉄道軸          |
|     | 広域連携軸        |
|     | 都市間連携軸       |
|     | 地域間連携軸       |
|     | (新架橋構想・道路構想) |
|     | 河川軸          |
|     | 住宅ゾーン        |
|     | 広域交流機能ゾーン    |
|     | 近隣生活機能ゾーン    |
|     | 産業ゾーン        |
|     | 産業誘導ゾーン      |
|     | 市民交流ゾーン      |
|     | 田園共生ゾーン      |
|     | 自然環境保全ゾーン    |
|     | 親水環境活用ゾーン    |

- ◆ 大江川全体の水辺空間の保全・再生

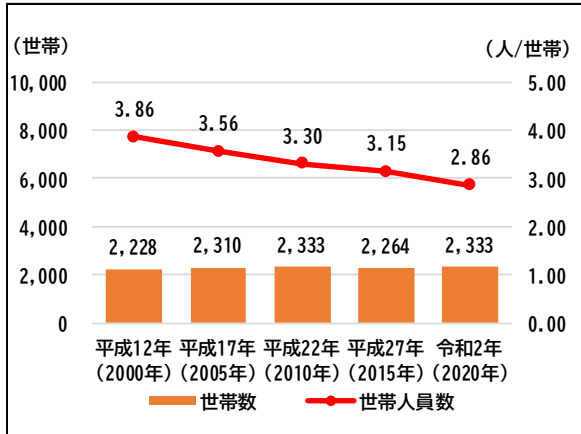
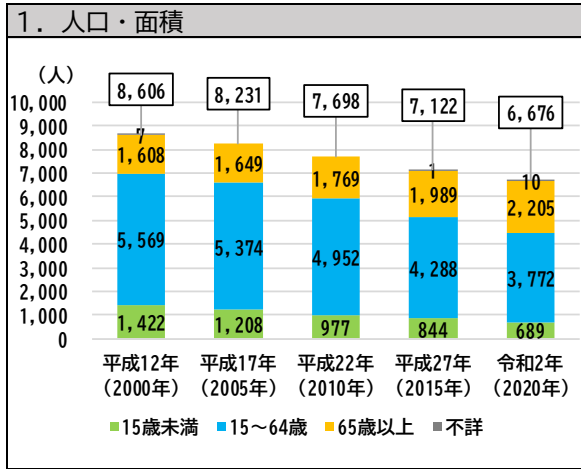
- ◆ 観光交流機能の向上
- ◆ 市民のレクリエーション空間や環境学習の場としての活用

- ◆ (仮称)愛津大橋の早期実現



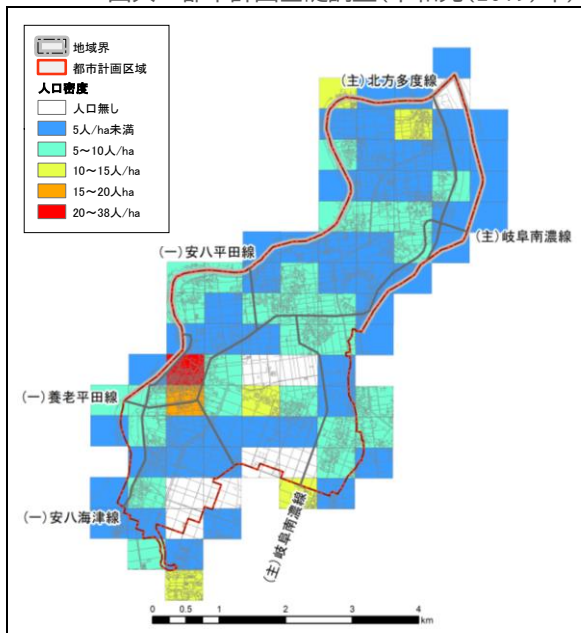
## 5-3 平田地域

### (1) 地域の特徴 (※検討時点での最新データを使用しています。)



|         |           |
|---------|-----------|
| 面積      | 1,629 ha  |
| 可住地面積   | 1,231 ha  |
| 人口密度    | 4.10 人/ha |
| 可住地人口密度 | 5.42 人/ha |

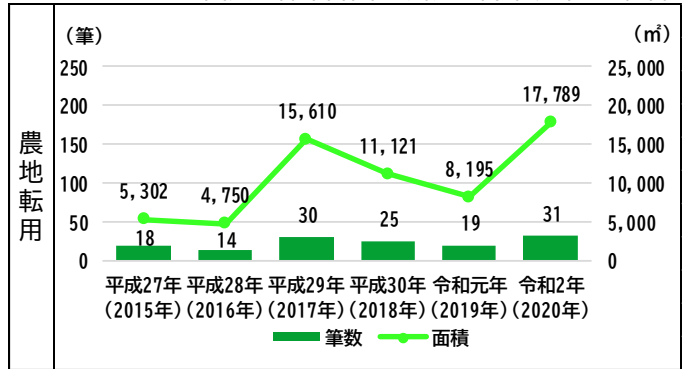
出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)



#### 2. 市街化動向

|      | 件数 (件)     | 面積 (㎡)   |          |
|------|------------|----------|----------|
| 開発許可 | 住宅用地       | 0        | 0.00     |
|      | 商業用地       | 0        | 0.00     |
|      | 工業用地       | 1        | 3,950.54 |
|      | 観光レクリエーション | 0        | 0.00     |
|      | その他        | 0        | 0.00     |
| 合計   | 1          | 3,950.54 |          |

出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)



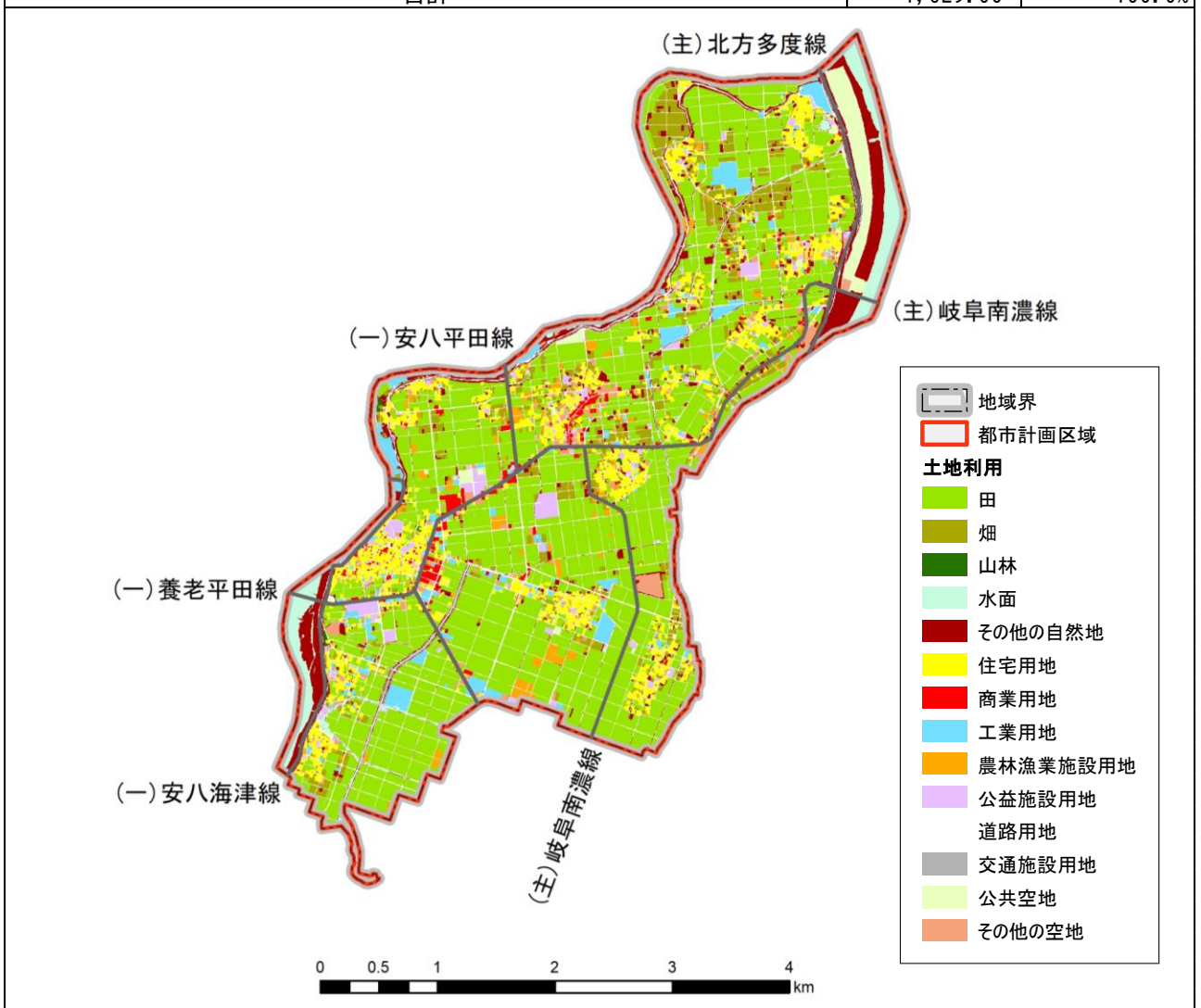
#### 3. 建物利用

|       | 棟数 (棟)    | 建築面積 (㎡) | 延床面積 (㎡)  |         |
|-------|-----------|----------|-----------|---------|
| 住居系   | 住宅        | 6,519    | 395,966   | 547,391 |
|       | 共同住宅      | 54       | 7,278     | 17,932  |
|       | 店舗等併用住宅   | 216      | 14,475    | 21,928  |
|       | 店舗等併用共同住宅 | 1        | 205       | 410     |
|       | 作業所併用住宅   | 101      | 7,332     | 9,835   |
| 小計    | 6,891     | 425,256  | 597,496   |         |
| 商業系   | 業務施設      | 152      | 14,022    | 21,592  |
|       | 商業施設      | 556      | 58,568    | 89,056  |
|       | 宿泊施設      | 0        | 0         | 0       |
|       | 商業系用途複合施設 | 0        | 0         | 0       |
| 小計    | 708       | 72,590   | 110,648   |         |
| 工業系   | 運輸倉庫施設    | 342      | 40,501    | 45,966  |
|       | 工場        | 760      | 198,680   | 222,982 |
|       | 農林漁業用施設   | 966      | 179,440   | 181,894 |
|       | 供給処理施設    | 42       | 6,548     | 9,940   |
|       | 防衛施設      | 0        | 0         | 0       |
|       | その他       | 7        | 681       | 681     |
| 小計    | 2,117     | 425,850  | 461,463   |         |
| 公共施設系 | 官公庁施設     | 33       | 1,301     | 1,524   |
|       | 文教厚生施設    | 566      | 64,669    | 87,311  |
|       | 小計        | 599      | 65,970    | 88,835  |
| 合計    | 10,315    | 989,666  | 1,258,442 |         |

出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)



| 4. 土地利用     |        |           |          |        |       |
|-------------|--------|-----------|----------|--------|-------|
|             |        |           | 面積 (ha)  | 構成比    |       |
| 自然的<br>土地利用 | 農地     | 田         | 766.86   | 47.1%  |       |
|             |        | 畑         | 124.47   | 7.6%   |       |
|             |        | 小計        | 891.33   | 54.7%  |       |
|             | 山林     | 1.28      | 0.1%     |        |       |
|             | 水面     | 89.98     | 5.5%     |        |       |
|             | その他自然地 | 120.48    | 7.4%     |        |       |
| 小計          |        |           | 1,103.07 | 67.7%  |       |
| 都市的<br>土地利用 | 宅地     | 住宅用地      | 136.93   | 8.4%   |       |
|             |        | 商業用地      | 22.81    | 1.4%   |       |
|             |        | 工業用地      | 60.10    | 3.7%   |       |
|             |        | 小計        | 219.84   | 13.5%  |       |
|             | その他    | 農林漁業施設用地  | 34.61    | 2.1%   |       |
|             |        | 公共施設用地    | 34.81    | 2.1%   |       |
|             |        | 道路用地      | 163.25   | 10.0%  |       |
|             |        | 公共施設用地    | 0.90     | 0.1%   |       |
|             |        | 公共空地      | 31.45    | 1.9%   |       |
|             |        | その他公的施設用地 | 0.00     | 0.0%   |       |
|             |        | その他空地     | 41.07    | 2.5%   |       |
|             | 小計     |           |          | 306.09 | 18.8% |
|             | 小計     |           |          | 525.93 | 32.3% |
| 合計          |        |           | 1,629.00 | 100.0% |       |



出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)

# 海津市都市計画マスタープラン

| 5. 都市計画道路・公園・緑地  |           |         |             |           |
|--|-----------|---------|-------------|-----------|
| 都市計画道路   |           |         |             |           |
| 決定年月日  | 名称        | 計画 (m)  | 事業中 (m)     | 整備済み (m)  |
| -  | -         | -       | -           | -         |
| 都市計画公園   |           |         |             |           |
| 決定年月日  | 名称        | 計画 (ha) | 事業中 (ha)    | 整備済み (ha) |
| -  | -         | -       | -           | -         |
| 都市計画緑地   |           |         |             |           |
| 決定年月日  | 名称        | 計画 (ha) | 事業計画面積 (ha) | 供用面積 (ha) |
| 昭和57(1982)年10月20日<br>平成8(1996)年10月18日<br>平成25(2013)年1月15日<br>平成30(2018)年 | 1木曾三川水郷公園 | 96.4    | -           | -         |



出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)、木曾川下流河川事務所資料(令和4(2022)年)

| 6. 都市施設  |   |
|----------|---|
| 都市公園     | 街区公園4施設、近隣公園1施設、都市緑地1施設                   |
| 行政機関     | 4施設                                       |
| 警察署・消防署等 | 消防署1施設                                    |
| 学校・教育施設  | 保育園・こども園3園、小学校2校、中学校1校<br>特別支援学校1校、その他1施設 |
| 医療施設     | 10施設                                      |
| 福祉施設     | 1施設                                       |
| 文化財      | 国指定文化財1件、県指定文化財4件、市指定文化財6件                |
| その他都市施設  | 下水道・農業集落排水3施設、水源地・浄水場2施設、火葬場1施設           |

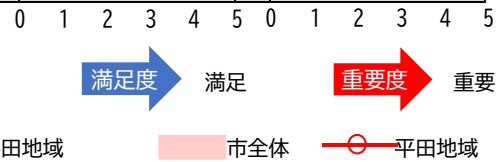


出典：海津市都市公園条例(令和元(2019)年)、市の資料(令和3(2021)年)  
国土数値情報(令和2(2020)年)、都市計画基礎調査(令和元(2019)年)

7. 市民意向

●平田地域

| 項目    |                               | 満足度  | 重要度  |
|-------|-------------------------------|------|------|
| 生活環境  | ① 日常の買い物の利便性                  | 2.97 | 4.19 |
|       | ② 駅前、交通拠点における生活サービスなどの都市機能の充実 | 2.08 | 4.07 |
|       | ③ 空き家・空き地・空き店舗の状況             | 2.19 | 3.84 |
|       | ④ 公園やスポーツ施設等の充実               | 2.78 | 3.71 |
|       | ⑤ 下水道などの生活排水対策                | 3.36 | 3.96 |
|       | ⑥ 公民館・図書館などの文化施設の利便性          | 3.17 | 3.59 |
|       | ⑦ 医療施設の充実                     | 2.77 | 4.30 |
|       | ⑧ 福祉施設の充実                     | 2.89 | 3.99 |
| 道路・交通 | ⑨ 県道などの幹線道路の整備状況              | 3.14 | 3.94 |
|       | ⑩ 家の前などの身近な道路の整備状況            | 3.07 | 3.94 |
|       | ⑪ 歩道やガードレールなどの歩行者に対する安全性      | 2.79 | 4.19 |
|       | ⑫ 駅や公共施設などの駐車場・駐輪場            | 2.99 | 3.66 |
|       | ⑬ 公共交通機関の利便性                  | 1.91 | 4.36 |
| 子育て環境 | ⑭ 教育施設の充実                     | 2.93 | 4.02 |
|       | ⑮ 子育て支援施設の充実                  | 2.93 | 4.01 |
|       | ⑯ 子どもの遊び場                     | 2.59 | 3.96 |
| 環境自然  | ⑰ 緑・水辺の豊かさ・美しさ                | 3.54 | 3.81 |
|       | ⑱ 生物多様性の取り組みについて              | 3.13 | 3.43 |
| 景観    | ⑲ 養老山地の眺望                     | 3.77 | 3.41 |
|       | ⑳ 歴史的まち並みの保全                  | 3.05 | 3.35 |
|       | ㉑ 沿道における建物や看板などの色や大きさ         | 3.02 | 3.08 |
|       | ㉒ 道路や沿道の緑化                    | 3.06 | 3.23 |
|       | ㉓ 農地を活かした田園風景                 | 3.33 | 3.18 |
| 安全安心  | ㉔ 耐震改修など、地震災害への災害対策           | 2.79 | 4.30 |
|       | ㉕ 河川の整備など水害への対策               | 3.14 | 4.40 |
|       | ㉖ 避難路・避難所の場所の分かりやすさ           | 2.78 | 4.38 |
|       | ㉗ 街路灯の確保など、夜道の安全性             | 2.57 | 4.38 |
|       | ㉘ 騒音や振動、悪臭などの公害対策             | 2.80 | 4.01 |
| 産業    | ㉙ 就業の場、就業機会の充実                | 2.35 | 4.12 |
|       | ㉚ 飲食店や物販等の商業機能の充実             | 2.44 | 4.08 |
|       | ㉛ 幹線道路沿道などにおける大型店の立地          | 2.57 | 3.76 |
| 業     | ㉜ 地域産業の活性化                    | 2.34 | 4.13 |
|       | ㉝ 企業誘致                        | 2.15 | 4.20 |



## (2) 地域の課題

### ■土地利用の課題

- 平田支所周辺では、都市機能や居住の集約により、近隣生活拠点の形成を図る必要があります。
- 地域地区の指定による計画的な土地利用を検討する必要があります。
- 千代保稲荷神社や道の駅「クレール平田」は、観光交流拠点として活用を図る必要があります。
- 農業生産・環境保全・治水等の観点から、農業生産基盤を保全する必要があります。

### ■道路・交通体系の課題

- 南濃大橋と輪之内町方面とを結ぶ道路の整備等により、広域道路ネットワークを強化する必要があります。
- 海津地域や南濃地域の近隣生活拠点との地域間道路ネットワークを形成する必要があります。
- 高齢化社会における移動手段を確保する必要があります。
- 近隣都市への通勤・通学に対応した公共交通ネットワークを形成する必要があります。
- 安心して子育てができる道路空間を形成する必要があります。

### ■水と緑の課題

- 長良川や揖斐川、大樽川をはじめとする河川や市内に点在する池沼では、親水環境を形成する必要があります。

### ■生活基盤整備の課題

- 下水道及び農業集落排水施設、合併処理浄化槽等、効率的な污水处理施設の整備が必要です。
- 上下水道施設の適切な維持管理及び計画的な施設の更新・耐震化を図る必要があります。
- ごみ・し尿等の各種処理施設の維持管理を図る必要があります。

### ■自然環境の保全と景観形成の課題

- 地域内に残る歴史的・文化的な資源を活用するとともに、その魅力を発信する必要があります。
- 地域特有の景観を保全・活用する必要があります。
- 歴史的まちなみが残る地区では、老朽空家・空地による景観の悪化を抑止する必要があります。

### ■都市防災・災害対策の課題

- 長良川・揖斐川浸水想定区域内での開発にあたり、防災対策の促進を検討する必要があります。
- 老朽空家や狭隘道路・区間を解消する必要があります。
- 災害時に機能する避難場所・避難所を確保する必要があります。
- 災害時における道路ネットワークを維持・強化する必要があります。



### (3) 地域の将来像と地域づくりの目標(ビジョン)

#### 【平田地域の将来像】

千代保稲荷神社は、「日本三大稲荷」の一つといわれる県内有数の観光地であり、門前町としてのまちなみが残っています。また、既成市街地では、輪中地域特有の歴史的まちなみが広がっていると同時に、伝統的な行事も受け継がれています。さらに、平田リバーサイドプラザや大樽川堤(輪中堤)の桜並木等の親水空間を活用した観光資源も充実しており、観光地として高いポテンシャルを有しています。

しかし、海津地域や南濃地域と比較して総人口や15歳未満人口の減少率(平成12(2000)年-令和2(2020)年比較)が大きく、令和4(2022)年度から「過疎地域」に指定される等、地域の再生と今後の持続的な発展が重要な課題となっています。

以上を踏まえ、地域の有する豊かな観光資源を活用した賑わいの再生及び今後の持続的な発展を図ることとして、次の将来像を設定します。

**【平田地域の将来像】**

**持続的に発展する歴史的・文化的なまち**

#### 【地域づくりの目標(ビジョン)】

SDGs 海津イレブン

|   |   |
|---|---|
| <p><b>1</b> 若い世代の移住・定住による地域の再生</p> <p>近隣都市への通勤・通学に対応した公共交通ネットワークの形成や居住集積地での良好な住環境の形成等により、若い世代の移住・定住を促進し、地域の再生を目指します。</p>              |   <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px;">3</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px;">4</div> </div>   |
| <p><b>2</b> 千代保稲荷神社を中心とした地域の活性化</p> <p>千代保稲荷神社の門前町としてのまちなみ保全と、既成市街地での輪中地域特有の歴史的まちなみの保全により地域としての魅力向上を図り、千代保稲荷神社を中心とした地域の活性化を目指します。</p> |   <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px;">8</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px;">10</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px; margin-top: 10px;">6</div>                             |
| <p><b>3</b> 河川沿岸を活用した親水空間の創出</p> <p>平田リバーサイドプラザでの河川レクリエーションの活性化や、大樽川堤(輪中堤)の桜並木の保全による親水空間としての観光資源を活用した賑わいの創出を目指します。</p>                |     <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px;">6</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px;">10</div> </div> |

## (4) 地域づくりの方針

## 土地利用の方針

## 対応目標

1 2 3

## 【平田支所周辺への機能の集約】

- 居住集積地では、都市基盤の改良・整備や地域地区の指定、空家・空地対策、周辺環境及び防災面での立地条件に配慮した住宅地開発による良好な市街地形成を図ります。
- (一) 養老平田線では、近隣型商業機能や日常的な社会生活サービス機能の維持と立地誘導を図ります。

## 【産業の維持・強化】

- 千代保稲荷神社や道の駅「クレール平田」では、日帰り観光中心の形態から周遊・滞在型観光へ転換します。そのため、商業系の土地利用誘導等を検討するとともに、海津地域や南濃地域の観光拠点との公共交通ネットワークの強化を推進します。
- 田園地帯では、農地の保全に努めます。
- スマート農業に対応した営農基盤の整備に努めます。

## 【水郷のまちとしての魅力向上】

- 長良川や揖斐川、大江川、大樽川及び田園共生ゾーンに分布する小河川・池沼では、憩いと交流の促進に向けた土地利用に努めます。
- 田園地帯に点在する既存集落では、6次産業化やスマート農業の就業スタイルを促進するとともに、生活環境・機能の維持・再整備を図ります。
- 個別で立地が進む小規模な工業系施設については、周辺の自然環境や営農環境との調和に努めます。

## 道路・交通体系の方針

## 対応目標

1 2

## 【都市間幹線道路の整備】

- 周辺都市と形成する広域的な生活圏の連携に向け、都市間幹線道路ネットワークの充実を目指します。
- (主) 岐阜南濃線は、拡幅整備や歩車分離(歩道設置)、交差点改良(右折レーンの設置)等に努めます。
- (仮称) 輪之内海津線の都市計画決定を検討します。
- 堤防道路を含む(主) 北方多度線では、堤防の嵩上げ整備に合わせ、拡幅等の機能強化を求めていきます。

## 【地域間幹線道路の整備】

- 近隣生活圏(海津・平田・南濃)を結ぶ、地域間幹線道路ネットワークの形成に努めます。
- 海津 23881 号線の整備を推進します。

## 【生活道路の整備】

- 狭隘道路の解消、道路反射鏡や防護柵等の交通安全施設の設置に努めます。

**【公共交通ネットワークの維持・充実】**

- 市民需要や観光客需要等に対応した路線設定や定刻運行に努めるとともに、バスロケーションシステムの導入や経路検索サービスの拡充を推進します。
- 「にしみのライナーレーバス」の利便性向上に努めます。
- デマンド交通では、最先端技術の活用による利便性の高いサービスの整備を検討します。

**【脱炭素社会の推進】**

- 自動車依存社会からの脱却によるCO<sub>2</sub>の排出量削減に努めます。
- EV等のガソリンに頼らない公用車の導入を推進します。

**水と緑の方針**

対応目標

1

3

**【水と緑あふれる親水空間の創出】**

- 国営木曾三川公園では、市民のスポーツ・レクリエーション空間や環境学習の場としての活用に向け、適切な運営(利用)と維持管理を促進するとともに、グリーンインフラとしての機能(雨水・流水貯留機能等)の向上を図ります。
- 河川敷に多く残る未利用地の有効活用を検討します。
- 大樽川堤(輪中堤)では、平田公園等の公園整備や約1,000本の桜並木をはじめとする緑地帯の形成、自然的環境の保全に努めます。

**【水圏生態系の保全】**

- 污水处理施設の整備及び水洗化率の向上を図り、水辺空間の美化運動、市内に点在する池沼のビオトープとしての活用により、水圏生態系の保全を推進します。

**【都市公園・緑地の充実】**

- 下表の都市公園では、親水性の高い都市環境の形成や身近な生活環境の充実に向け、多機能性に対応した整備・拡充や市民と連携した公園管理・運営、一時避難場所や救援物資集積拠点としての機能の充実に努めます。

| 種別   | 施設名                     |
|------|-------------------------|
| 街区公園 | ふれあい広場、沙美公園、やすらぎ公園、白山公園 |
| 近隣公園 | 平田公園                    |
| 都市緑地 | 平田リバーサイドプラザ             |

- 平田リバーサイドプラザでは、水辺のレクリエーション機能の整備促進に努めます。

**【身近な緑の確保】**

- 公共公益施設では、敷地内の緑地の維持管理に努めます。

生活基盤整備の方針

対応目標

1

【上下水道の整備】

- 下水道や農業集落排水施設、合併処理浄化槽等、効率的な整備を推進し、水洗化率の向上に努めます。
- 特定環境保全公共下水道施設と、農業集落排水施設の統廃合等による運営手法の効率化を検討します。
- 上下水道施設等の適切な維持管理に努め、計画的に施設の更新・耐震化を推進します。

| 種別            | 施設名               |
|---------------|-------------------|
| 特定環境保全公共下水道施設 | 三郷浄化センター、今尾浄化センター |
| 農業集落排水施設      | 野寺浄化センター          |
| 水源地・浄水場施設     | 平田第1水源地、平田第2水源地   |

【処理施設の維持管理】

- 下表の各種処理施設の維持管理に努めます。

| 処理対象     | 施設名                              |
|----------|----------------------------------|
| 燃やせるごみ   | 南濃衛生施設利用事務組合 養老ドリームパーク(養老町)      |
| 燃やせないごみ  | 西南濃粗大廃棄物処理組合 西南濃粗大廃棄物処理センター(養老町) |
| し尿・浄化槽汚泥 | 海津浄化センター、南濃衛生施設利用事務組合衛生センター(養老町) |
| 陶磁器・がれき類 | 福江一般廃棄物最終処分場、今尾一般廃棄物最終処分場        |

- 海津市斎苑「天昇苑」の適切な維持管理に努めます。

自然環境の保全と景観形成の方針

対応目標

2

3

【水郷風景の保全】

- 地域に広がる水田や集落、小河川、池沼で構成する水郷風景を一体的に保全します。

【歴史的まちなみの継承】

- 社寺や屋敷等、敷地を高くした石垣のまちなみが残る平田町今尾では、魅力的な景観形成に向け、建築物の形態・意匠の統一等の促進を検討するとともに、老朽空家・空地の解消等による景観悪化の抑止に努めます。
- 千代保稲荷神社では、まちなみの保全や空き店舗の抑止等により広域交流機能の強化に努めます。
- 早川家住宅は、輪中地帯における特徴を示す住宅として国の有形文化財に指定されており、保全・活用に努めます。

都市防災・災害対策の方針

対応目標

3

【治水・治山事業の促進】

- 長良川の浚渫や揖斐川の築堤・護岸改修、排水機の排水容量増強等の内水排除対策の促進に努めます。
- 市が管理する準用河川・普通河川の河川改修を推進します。
- 令和6(2024)年を目標に市管理河川530mを整備します。
- 国や県が管理する河川は、目標とする治水安全度に応じて整備の促進に努めます。

【流域治水の実現】

- 流域治水の考え方にに基づき、「木曾川水系長良川流域治水プロジェクト」や「木曾川水系揖斐川流域治水プロジェクト」の実現に努めます。
- ハード面の対策として、洪水氾濫・内水氾濫対策を行うとともに、河川敷のグリーンインフラとしての機能(雨水・流水の貯留機能等)の向上等に努めます。
- ソフト面の対策として、WEB アプリによる防災・避難情報の発信や自主防災組織に対する防災講話の継続に努めるとともに、防災教育や水防訓練を充実させ、避難体制の強化等を推進します。

【強靱な市街地の形成】

- 海津市地域強靱化計画等に基づく取組を実施・促進しつつ、長期的視点で災害リスクが小さい安全な場所での都市機能の立地や居住の促進等について検討します。
- 民間の住宅・建築物の耐震化・不燃化の促進や消火体制の整備に努めるとともに、老朽空家等の所有者に対し適切な管理や除却を求めています。
- 狭隘道路・狭隘区間、行き止まり道路の解消及び2方向避難の確保等に努めます。
- 防犯に配慮した公共施設の整備、防犯カメラ、防犯灯や街路灯の設置などを進め、防犯性の高い環境づくりに努めます。

【避難所・避難場所の充実】

- 水害時における垂直避難の確保に向け、小中学校等の公的な中層建築物の均衡ある配置を維持するほか、民間の中高層建築物の確保に努めます。
- 既存の避難所等では、計画的に耐震化・不燃化等を実施していきます。
- 民間の高齢介護施設や障がい者施設等と災害連携協定を締結し、福祉避難所の拡充を図ります。

【災害時の道路ネットワークの確保】

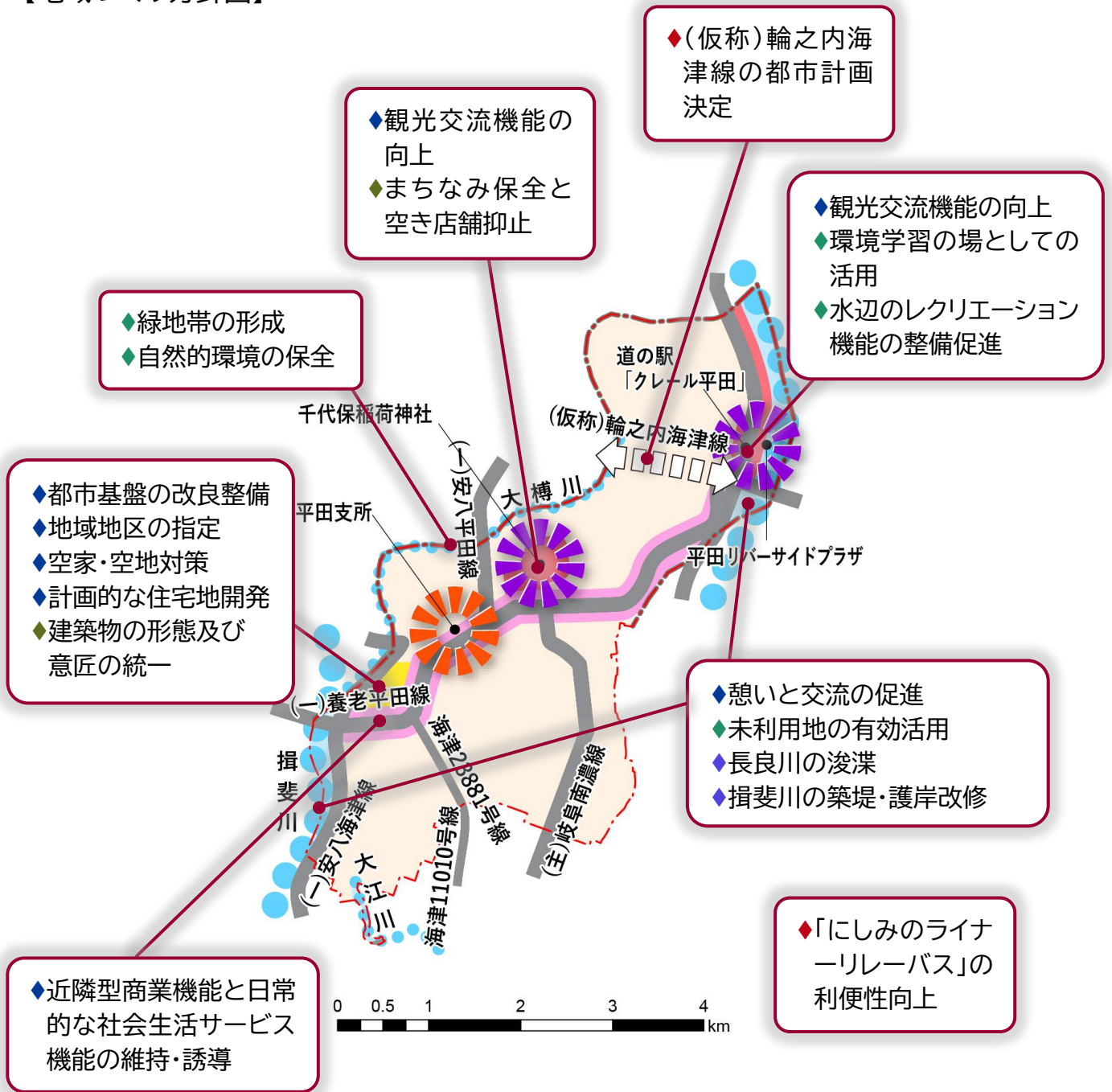
- 緊急輸送道路の拡幅等の機能強化及び緊急輸送道路区間における橋梁の維持管理の徹底や必要に応じた架け替えを促進します。
- 地震による避難経路分断のおそれがある危険箇所の把握に努めます。

【災害復興の円滑化】

- 自主防災組織の結成を推進し、被災時における体制や手順の明確化に努めるとともに、地域住民との協働による事前復興まちづくり計画の策定を検討します。



【地域づくり方針図】

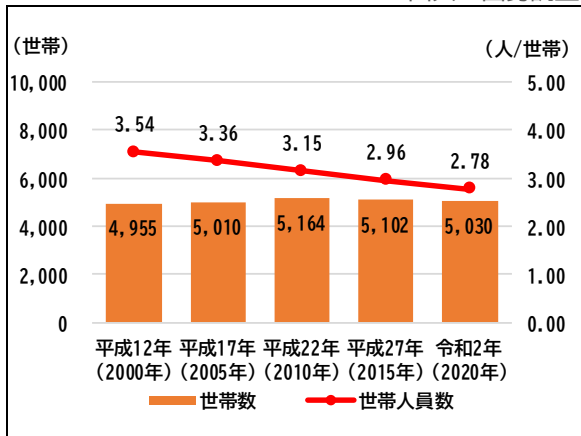
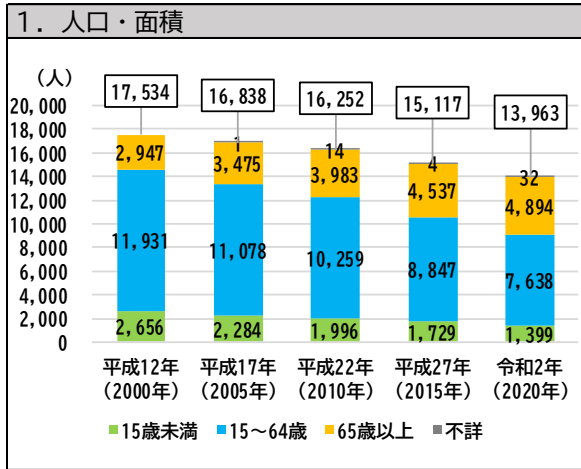


| 凡 例 |             |  |           |
|-----|-------------|--|-----------|
|     | 都市計画区域      |  | 住宅ゾーン     |
|     | 地域生活拠点      |  | 広域交流機能ゾーン |
|     | 新生活拠点       |  | 近隣生活機能ゾーン |
|     | 産業拠点        |  | 工業ゾーン     |
|     | 観光交流拠点      |  | 工業誘導ゾーン   |
|     | 鉄道軸         |  | 市民交流ゾーン   |
|     | 広域連携軸       |  | 田園共生ゾーン   |
|     | 都市間連携軸      |  | 自然環境保全ゾーン |
|     | 地域間連携軸      |  | 親水環境活用ゾーン |
|     | (新築構想・道路構想) |  | 河川軸       |

- ◆ 土地利用の方針
- ◆ 道路・交通体系の方針
- ◆ 水と緑の方針
- ◆ 自然環境の保全と景観形成の方針
- ◆ 都市防災・災害対策の方針

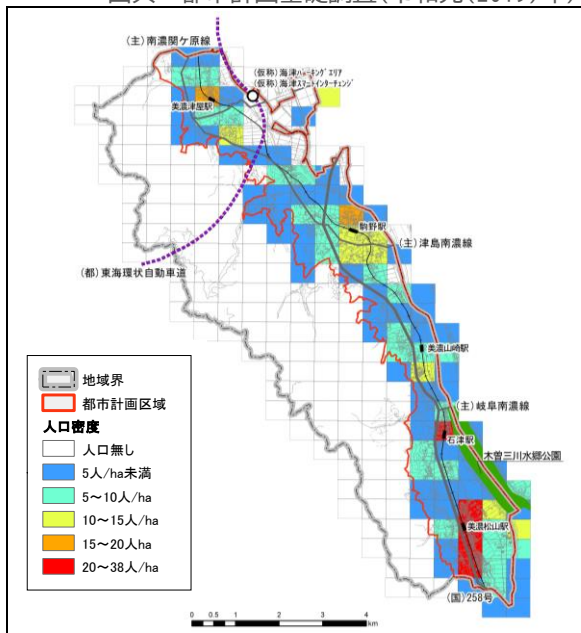
## 5-4 南濃地域

### (1) 地域の特徴 (※検討時点での最新データを使用しています。)



|         |           |
|---------|-----------|
| 面積      | 5,181 ha  |
| 可住地面積   | 1,719 ha  |
| 人口密度    | 2.70 人/ha |
| 可住地人口密度 | 8.12 人/ha |

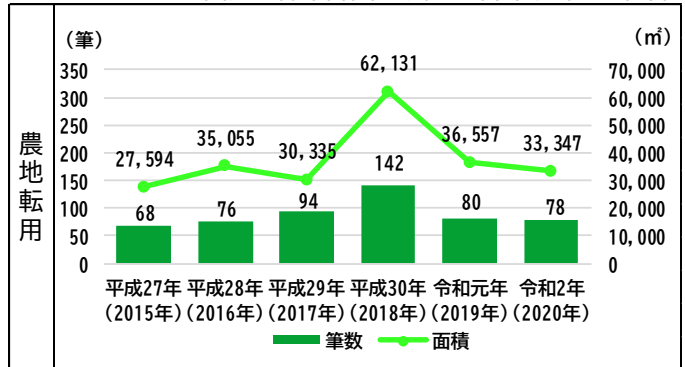
出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)



2. 市街化動向

|      | 件数 (件)     | 面積 (㎡)     |            |
|------|------------|------------|------------|
| 開発許可 | 住宅用地       | 0          | 0.00       |
|      | 商業用地       | 1          | 8,846.00   |
|      | 工業用地       | 2          | 114,124.88 |
|      | 観光レクリエーション | 0          | 0.00       |
|      | その他        | 0          | 0.00       |
| 合計   | 3          | 122,970.88 |            |

出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)



3. 建物利用

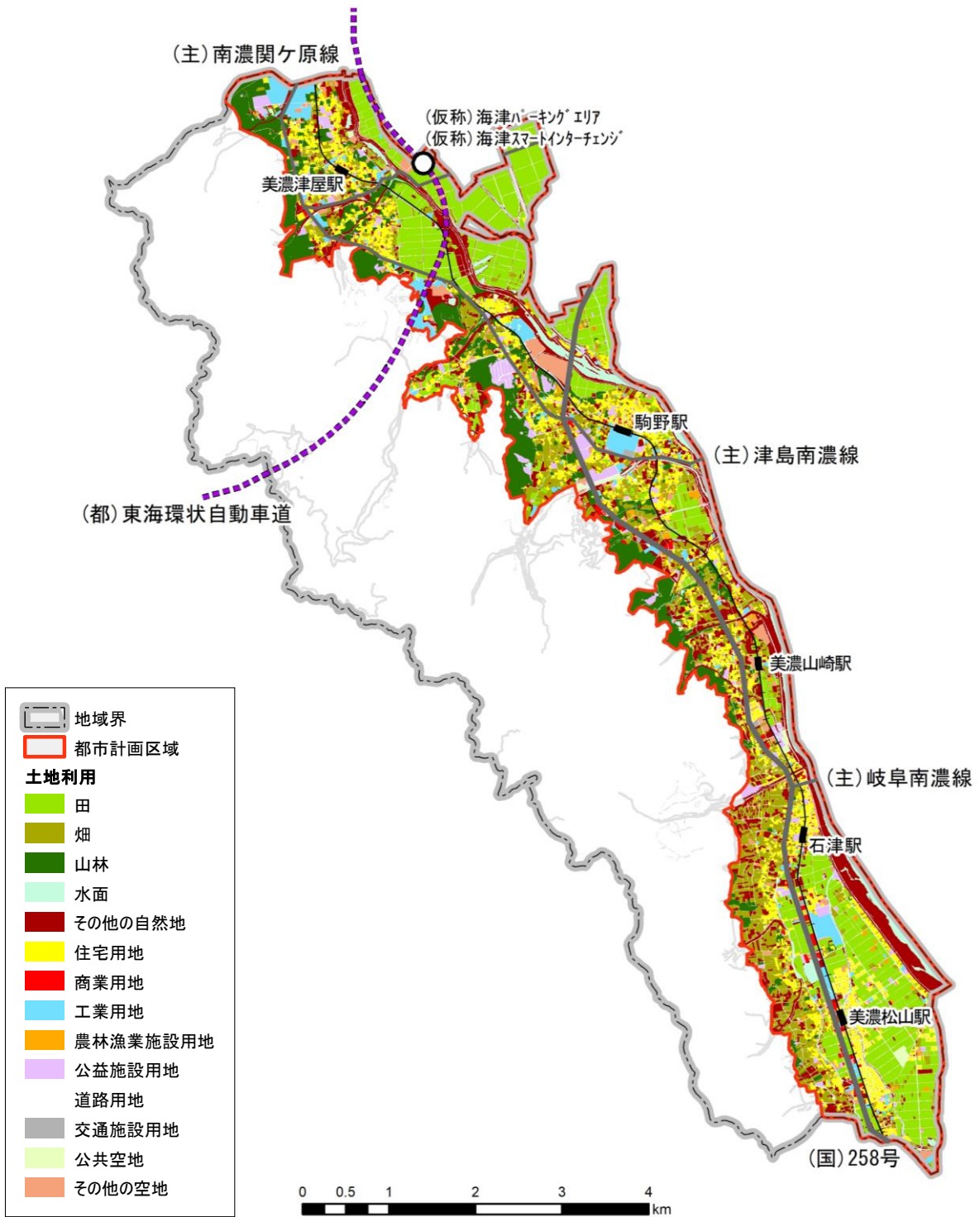
|       | 棟数 (棟)    | 建築面積 (㎡)  | 延床面積 (㎡)  |         |
|-------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 住居系   | 住宅        | 11,096    | 697,184   | 986,280 |
|       | 共同住宅      | 127       | 16,141    | 37,437  |
|       | 店舗等併用住宅   | 296       | 21,224    | 33,366  |
|       | 店舗等併用共同住宅 | 1         | 184       | 734     |
|       | 作業所併用住宅   | 146       | 10,486    | 15,184  |
| 小計    | 11,666    | 745,219   | 1,073,001 |         |
| 商業系   | 業務施設      | 176       | 16,604    | 21,365  |
|       | 商業施設      | 350       | 40,265    | 49,959  |
|       | 宿泊施設      | 7         | 1,233     | 3,454   |
|       | 商業系用途複合施設 | 0         | 0         | 0       |
| 小計    | 533       | 58,102    | 74,778    |         |
| 工業系   | 運輸倉庫施設    | 423       | 50,103    | 66,728  |
|       | 工場        | 636       | 207,599   | 249,359 |
|       | 農林漁業用施設   | 843       | 106,536   | 108,397 |
|       | 供給処理施設    | 78        | 6,206     | 9,339   |
|       | 防衛施設      | 0         | 0         | 0       |
|       | その他       | 7         | 898       | 1,111   |
| 小計    | 1,987     | 371,342   | 434,934   |         |
| 公共施設系 | 官公庁施設     | 58        | 6,418     | 8,408   |
|       | 文教厚生施設    | 764       | 101,643   | 149,145 |
|       | 小計        | 822       | 108,061   | 157,553 |
| 合計    | 15,008    | 1,282,724 | 1,740,266 |         |

出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)

| 4. 土地利用     |          |           | 面積 (ha) | 構成比   |
|-------------|----------|-----------|---------|-------|
| 自然的<br>土地利用 | 農地       | 田         | 467.46  | 20.9% |
|             |          | 畑         | 320.28  | 14.3% |
|             |          | 小計        | 787.74  | 35.3% |
|             | 山林       | 256.44    | 11.5%   |       |
|             | 水面       | 116.42    | 5.2%    |       |
|             | その他自然地   | 324.72    | 14.5%   |       |
|             | 小計       | 1,485.31  | 66.5%   |       |
| 都市的<br>土地利用 | 宅地       | 住宅用地      | 246.84  | 11.0% |
|             |          | 商業用地      | 25.57   | 1.1%  |
|             |          | 工業用地      | 82.38   | 3.7%  |
|             |          | 小計        | 354.80  | 15.9% |
|             | その他      | 農林漁業施設用地  | 28.11   | 1.3%  |
|             |          | 公共施設用地    | 65.20   | 2.9%  |
|             |          | 道路用地      | 178.04  | 8.0%  |
|             |          | 公共施設用地    | 21.37   | 1.0%  |
|             |          | 公共空地      | 12.02   | 0.5%  |
|             |          | その他公的施設用地 | 0.00    | 0.0%  |
|             |          | その他空地     | 89.15   | 4.0%  |
|             | 小計       | 393.89    | 17.6%   |       |
|             | 小計       | 748.69    | 33.5%   |       |
| 合計          | 2,234.00 | 100.0%    |         |       |

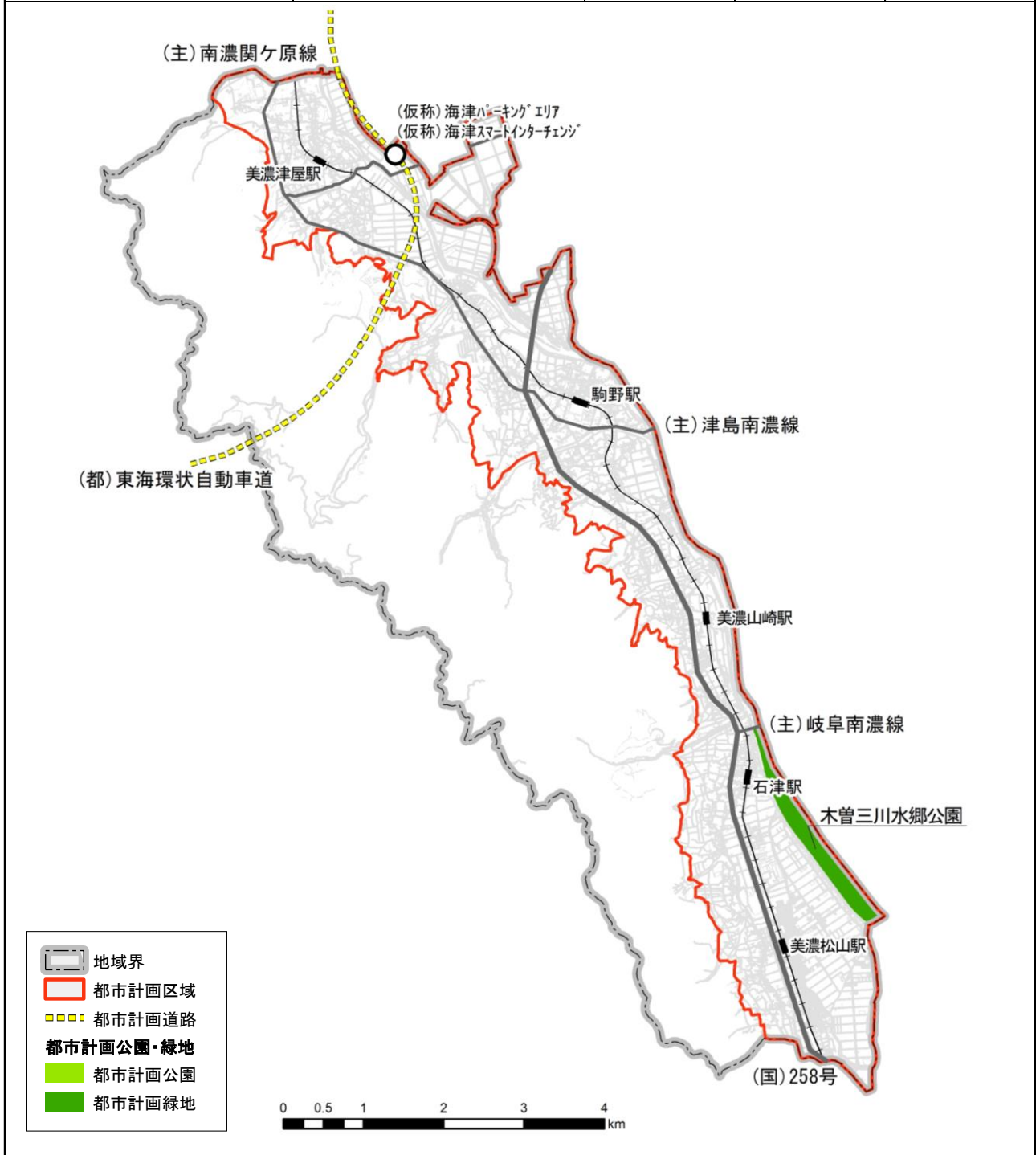
出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)

4. 土地利用



出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)

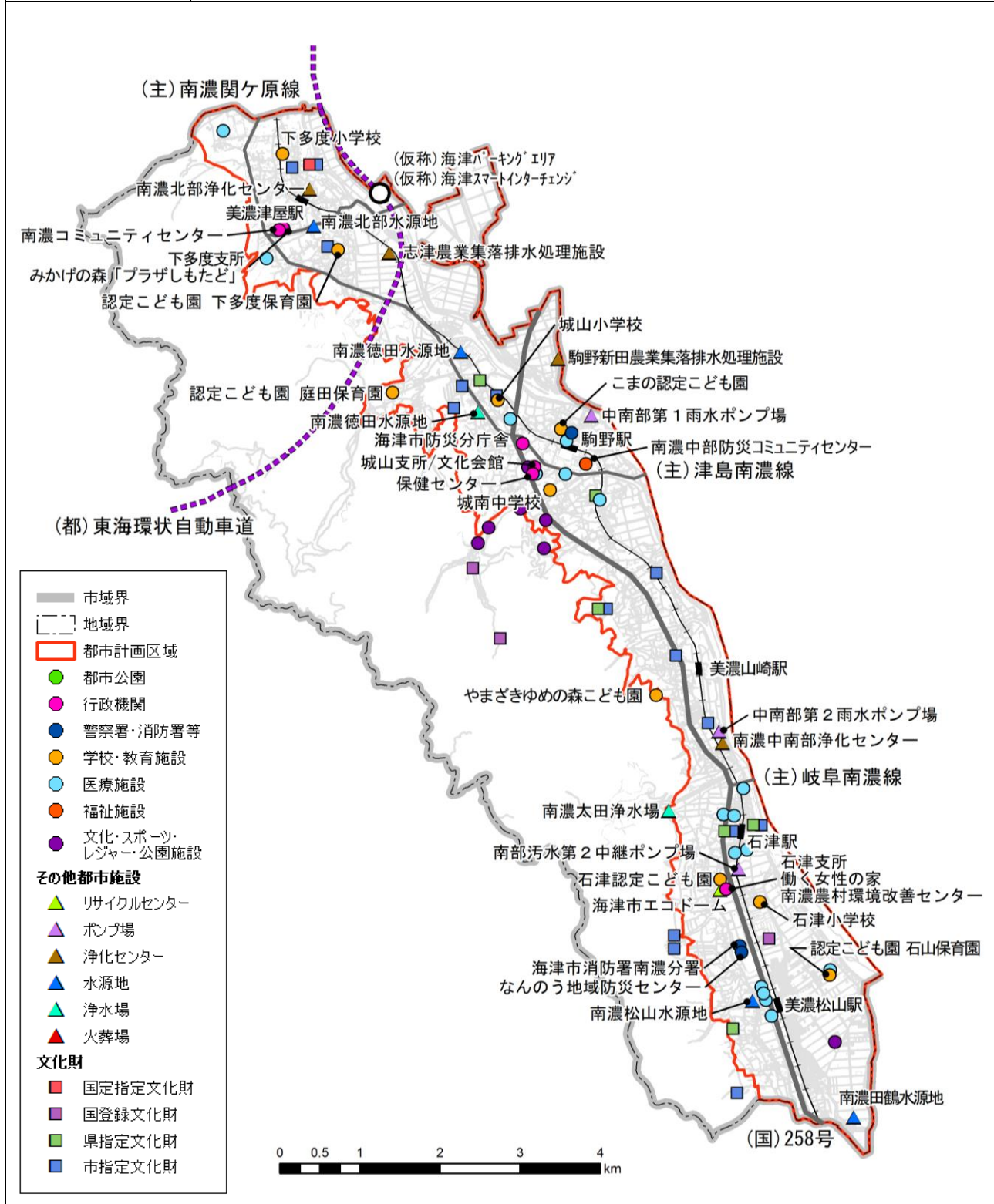
| 5. 都市計画道路・公園・緑地  |               |         |             |           |
|--|---------------|---------|-------------|-----------|
| 都市計画道路   |               |         |             |           |
| 決定年月日  | 名称            | 計画 (m)  | 事業中 (m)     | 整備済み (m)  |
| 平成19(2007)年4月24日   | 1・3・1東海環状自動車道 | 5,010   | -           | -         |
| 都市計画公園   |               |         |             |           |
| 決定年月日  | 名称            | 計画 (ha) | 事業中 (ha)    | 整備済み (ha) |
| -  | -             | -       | -           | -         |
| 都市計画緑地   |               |         |             |           |
| 決定年月日  | 名称            | 計画 (ha) | 事業計画面積 (ha) | 供用面積 (ha) |
| 昭和57(1982)年10月20日<br>平成8(1996)年10月18日<br>平成25(2013)年1月15日<br>平成30(2018)年 | 1木曾三川水郷公園     | 61.7    | -           | -         |



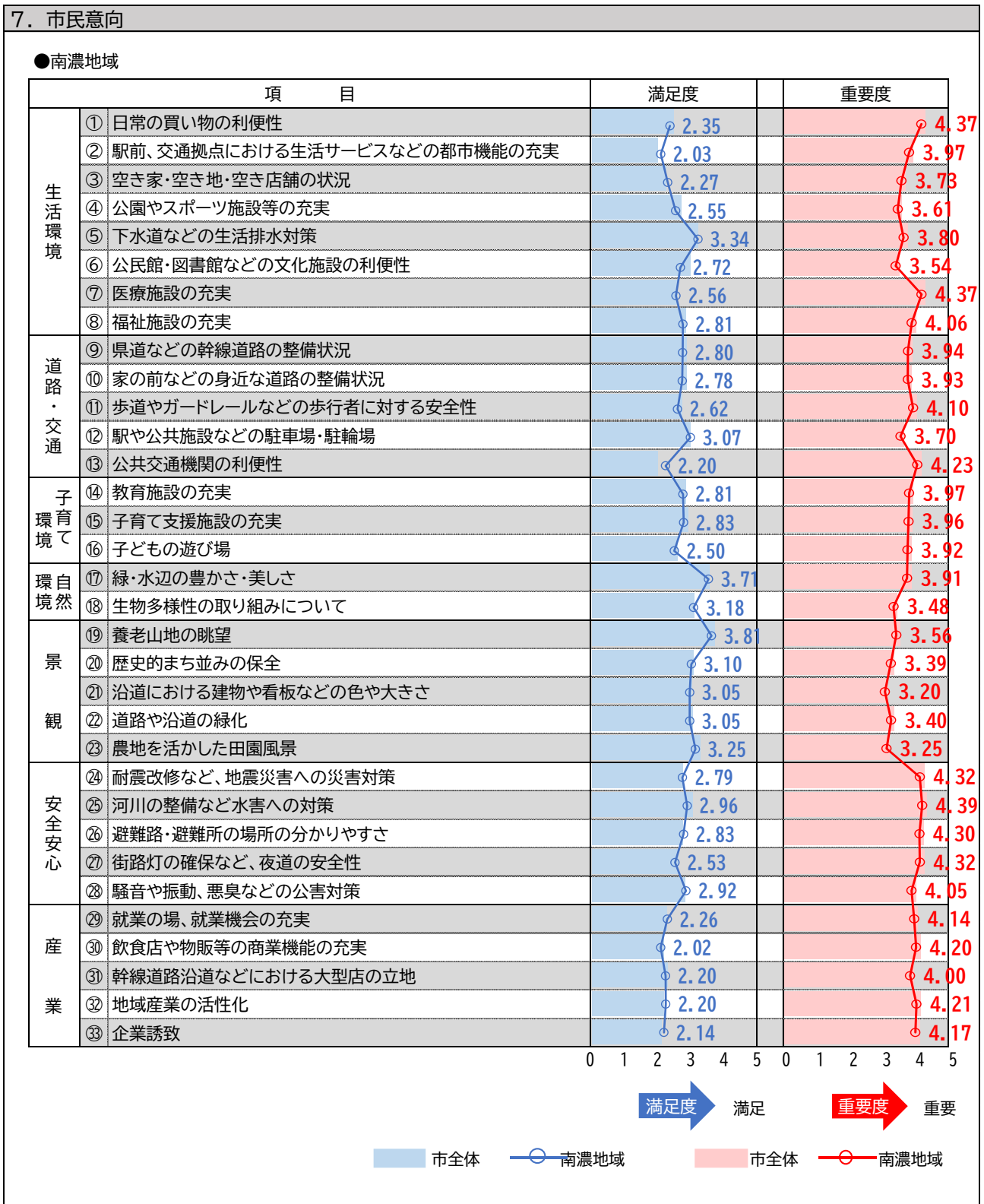
出典：都市計画基礎調査(令和元(2019)年)、木曾川下流河川事務所資料(令和4(2022)年)



| 6. 都市施設  |   |
|----------|---|
| 行政機関     | 6施設                                     |
| 警察署・消防署等 | 消防署1施設、防災センター2施設                        |
| 学校・教育施設  | 保育園・こども園6園、小学校3校、中学校1校                  |
| 医療施設     | 18施設                                    |
| 福祉施設     | 1施設                                     |
| 文化財      | 国指定文化財1件、国登録文化財4件、県指定文化財8件<br>市指定文化財31件 |
| その他都市施設  | リサイクルセンター1施設、下水道・農業集落排水7施設、水源地・浄水場6施設   |



出典：海津市都市公園条例(令和元(2019)年)、市の資料(令和3(2021)年)  
国土数値情報(令和2(2020)年)、都市計画基礎調査(令和元(2019)年)



## (2) 地域の課題

### ■土地利用の課題

- 城山支所周辺では、都市機能や居住の集約により、近隣生活拠点の形成を図る必要があります。
- 地域地区の指定による計画的な土地利用を検討する必要があります。
- (仮称)海津スマートインターチェンジ周辺では、開通効果を活かした計画的な土地利用を検討する必要があります。
- 羽根谷だんだん公園、道の駅「月見の里南濃」、南濃温泉「水晶の湯」は、観光交流拠点として活用を図る必要があります。
- 農業生産・環境保全・治水等の観点から、農業生産基盤を保全する必要があります。

### ■道路・交通体系の課題

- (仮称)海津スマートインターチェンジの結節点機能の強化を図る必要があります。
- 海津地域や平田地域の近隣生活拠点との地域間道路ネットワークを形成する必要があります。
- 高齢化社会における移動手段を確保する必要があります。
- 安心して子育てができる道路空間を形成する必要があります。
- 養老鉄道の利便性向上を図る必要があります。
- 養老鉄道各駅における駅前空間の充実を図る必要があります。

### ■水と緑の課題

- 揖斐川や津屋川をはじめとする河川や市内に点在する池沼では、親水環境を形成する必要があります。
- 公園や子どもの遊び場を整備する必要があります。

### ■生活基盤整備の課題

- 下水道及び農業集落排水施設、合併処理浄化槽等、効率的な污水处理施設の整備が必要です。
- 上下水道施設の適切な維持管理及び計画的な施設の更新・耐震化を図る必要があります。
- ごみ・し尿等の各種処理施設の維持管理を図る必要があります。

### ■自然環境の保全と景観形成の課題

- 地域内に残る歴史的・文化的な資源を活用するとともに、その魅力を発信する必要があります。
- 地域特有の景観を保全・活用する必要があります。
- 養老山地の自然環境・眺望景観を保全する必要があります。

### ■都市防災・災害対策の課題

- 揖斐川浸水想定区域内での開発にあたっての防災対策の促進を検討する必要があります。
- 老朽空家や狭隘道路・区間を解消する必要があります。
- 災害時に機能する避難場所・避難所を確保する必要があります。
- 災害時における道路ネットワークを維持・強化する必要があります。

### (3) 地域の将来像

#### 【南濃地域の将来像】

地域の西側には養老山地が連なっています。その眺望は、本地域に限らず海津地域や平田地域においても日常の風景であり、本市が有する重要な自然資源となっています。

養老山地の麓に沿うように養老鉄道が地域を縦走しており、地域の公共交通の要となっています。しかし、駅利用者数は近年減少傾向にあり、利便性の向上による利用客数の増加が課題となっています。

また、北部には(仮称)海津スマートインターチェンジの開通が予定されています。開通に向けた交通結節点機能の強化や、周辺地域の立地ポテンシャルの高まりを活かした土地利用が課題となっています。

以上を踏まえ、養老山地の豊かな自然を保全しつつ、養老鉄道の利便性向上や(仮称)海津スマートインターチェンジ開通効果の活用に取り組むこととして、次の将来像を設定します。

#### 【南濃地域の将来像】

### 交通利便性の強みを生かした産業と自然の調和した交流のまち

#### 【地域づくりの目標(ビジョン)】

SDGs

海津イレブン

#### 1 (仮称)海津スマートインターチェンジ開通効果の活用

(仮称)海津スマートインターチェンジ開通に向け、周辺アクセス道路の整備や公共交通との連携による交通結節点としての機能を向上させるとともに、周辺地域の立地ポテンシャルの高まりを活かした企業誘致とそれに伴う就業機会の創出、地域の観光資源の魅力向上による観光客数の増加等、開通効果を最大限に活かしたまちづくりを目指します。



#### 2 養老鉄道の利便性向上

養老鉄道の利用者数を増加させるため、駅前広場を整備します。自動車・自転車・バス等の二次交通手段との接続を向上させる駐車場の整備・拡充、駐輪場の維持管理、バス停の整備、駅を中心としたコミュニティバスの路線設定等による利便性向上を目指します。





**3** 養老山地や公園の緑を活用した交流空間の創出

本市の重要な自然的・歴史的・文化的資源として養老山地を保全・活用するとともに、多機能性を有した都市公園の整備等に努めることで、豊かな緑空間での交流の促進を目指します。



月見の森からの眺望



(4) 地域づくりの方針

土地利用の方針

対応目標

1

2

3

【城山支所周辺や駅周辺への機能の集約】

- 居住集積地では、都市基盤の改良・整備や地域地区の指定、空家・空地対策、周辺環境及び防災面での立地条件に配慮した住宅地開発による良好な市街地形成を図ります。
- (国)258号や(主)津島南濃線沿道では、近隣型商業機能や日常的な社会生活サービス機能の維持と立地誘導を図ります。

【産業の維持・強化】

- 羽根谷だんだん公園、道の駅「月見の里南濃」、南濃温泉「水晶の湯」では、日帰り観光中心の形態から周遊・滞在型観光へ転換するため、商業系の土地利用誘導等を検討するとともに、海津地域や平田地域の観光拠点との公共交通ネットワークの強化を推進します。
- 新たにキャンプ場が整備された羽根谷だんだん公園をはじめとする月見の森周辺の観光施設では、一体として広域交流機能の向上に努めます。
- 駒野工業団地では、周辺の田園や生活環境と調和した計画的な基盤整備を推進します。
- (仮称)海津スマートインターチェンジ周辺の一団の土地では、周辺の田園や生活環境と調和した産業系土地利用の誘導を図ります。
- 田園地域では、農地の保全と山麓で栽培されているみかんや柿の果樹園の保全に努めます。
- スマート農業に対応した営農基盤の整備に努めます。

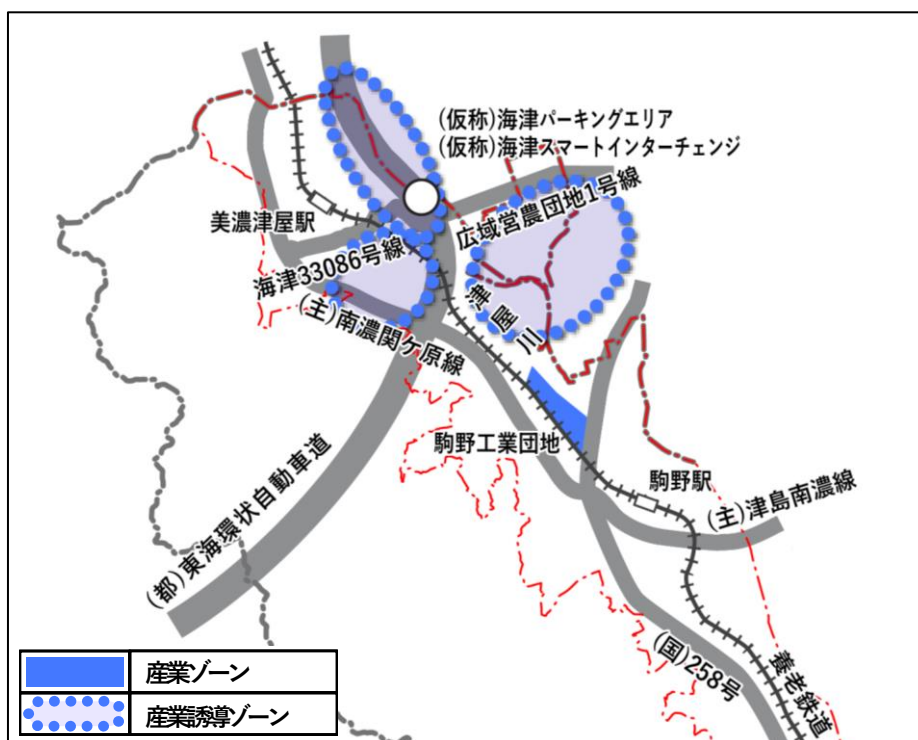


図 産業誘導ゾーン

【養老山地の保全・活用】

□養老山地を保全・活用します。

【水郷のまちとしての魅力向上】

□揖斐川や津屋川、田園共生ゾーンに分布する小河川・池沼では、憩いと交流の促進に向けた土地利用に努めます。

□田園地帯に点在する既存集落では、6次産業化やスマート農業の就業スタイルを促進するとともに、生活環境・機能の維持・再整備を図ります。

□個別で立地が進む小規模な工業系施設については、周辺の自然環境や営農環境との調和に努めます。

道路・交通体系の方針

対応目標

1

2

【(都)東海環状自動車道】

□(都)東海環状自動車道及び(仮称)海津パーキングエリア・スマートインターチェンジの着実な事業を促進します。

□(仮称)海津スマートインターチェンジを結節点とした(国)258号や、(主)南濃関ヶ原線とのアクセス強化に努めます。

【都市間幹線道路の整備】

□周辺都市と形成する広域的な生活圏の連携に向け、都市間幹線道路ネットワークの充実を目指します。

□(国)258号の4車線化を国に働きかけます。

【生活道路の整備】

□狭隘道路の解消、道路反射鏡や防護柵等の交通安全施設の設置に努めます。

【公共交通ネットワークの維持・充実】

□養老鉄道の各駅では、利用状況を踏まえながら、駅前広場の新設・改良や駐車場の整備・拡充、駐輪場の維持管理、バス停の整備等を図ります。

□市民需要や観光客需要等に対応した路線設定や定刻運行に努めるとともに、バスロケーションシステムの導入や経路検索サービスの拡充を推進します。

□(仮称)海津スマートインターチェンジでの公共交通ネットワークへの接続を検討します。

□デマンド交通では、最先端技術の活用による利便性の高いサービスの整備を検討します。

【脱炭素社会の推進】

□自動車依存社会からの脱却によるCO<sub>2</sub>の排出量削減に努めます。

□EV等のガソリンに頼らない公用車の導入を推進します。

## 水と緑の方針

## 対応目標

3

## 【水と緑あふれる親水空間の創出】

□津屋川では、彼岸花と背後の養老山地で形成される景観の魅力向上に努めます。

## 【水圏生態系の保全】

□津屋川水系清水池ハリヨ生息地での水生動物の連続的な生息地の確保に努めます。

□污水处理施設の整備及び水洗化率の向上を図り、水辺空間の美化運動、市内に点在する池沼のビオトープとしての活用により、水圏生態系の保全を推進します。

## 【養老山地の保全・活用】

□養老山地では、自然環境の保全と歴史的資源の活用にも努めます。

## 【都市公園の整備】

□環境保全や防災、景観形成等の多機能性を有した都市公園の整備に努めます。

## 【身近な緑の確保】

□公共公益施設では、敷地内の緑地の維持管理に努めます。



整備が進む(仮称)海津スマートインターチェンジ周辺 令和5(2023)2月 岐阜国道事務所提供

生活基盤整備の方針

対応目標

3

【上下水道の整備】

- 下水道や農業集落排水施設、合併処理浄化槽等、効率的な整備を推進し、水洗化率の向上に努めます。
- 公共下水道施設と農業集落排水施設の統廃合、合併処理浄化槽への転換等による運営手法の効率化を検討します。
- 上下水道施設等の適切な維持管理に努め、計画的に施設の更新・耐震化を推進します。

| 種別        | 施設名   |
|-----------|---|
| 公共下水道施設   | 南濃北部浄化センター、南濃中南部浄化センター、中南部第1雨水ポンプ場、中南部第2雨水ポンプ場、南部汚水第2中継ポンプ場 |
| 農業集落排水施設  | 志津農業集落排水処理施設、駒野新田農業集落排水処理施設                                 |
| 水源地・浄水場施設 | 南濃北部水源地、南濃徳田水源地、南濃藤沢浄水場、南濃太田浄水場、南濃松山水源地、南濃田鶴水源地             |

【処理施設の維持管理】

- 下表の各種処理施設の維持管理に努めます。

| 処理対象     | 施設名                               |
|----------|-----------------------------------|
| 燃やせるごみ   | 南濃衛生施設利用事務組合 養老ドリームパーク(養老町)       |
| 燃やせないごみ  | 西南濃粗大廃棄物処理組合 西南濃粗大廃棄物処理センター(養老町)  |
| し尿・浄化槽汚泥 | 海津浄化センター、南濃衛生施設利用事務組合 衛生センター(養老町) |
| 陶磁器・がれき類 | 福江一般廃棄物最終処分場、今尾一般廃棄物最終処分場         |

- リサイクル拠点「エコドーム」の利用促進による、ごみの減量化・再資源化を推進します。



## 自然環境の保全と景観形成の方針

## 対応目標

1

3

## 【養老山地の保全】

□西南濃森林組合と共同で養老山地の山林や斜面林の適切な維持管理を図り、CO<sub>2</sub>の吸収機能の維持・強化に努めます。また、養老鉄道沿線から麓にかけての地域では、養老山地の眺望を踏まえた景観に配慮したまちづくりに努めます。

## 【水郷風景の保全】

□地域に広がる水田や集落、小河川、池沼で構成する水郷風景を一体的に保全します。  
□津屋川の彼岸花や津屋川水系清水池ハリヨ生息地、南濃梅園で構成される自然景観の一体的な保全・活用に努めます。

## 【歴史的まちなみの継承】

□伊勢街道沿道では、歴史的風致を生かしたまちなみ景観の形成を検討します。



羽根谷だんだん公園キャンプ場



都市防災・災害対策の方針

対応目標

1

3

【治水・治山事業の促進】

- 揖斐川・津屋川の築堤・護岸改修や排水機の排水容量増強等の内水排除対策の促進に努めます。
- 市が管理する準用河川・普通河川の河川改修を推進します。
- 令和 6(2024)年を目標に市管理河川 530m を整備します。
- 国や県が管理する河川は、目標とする治水安全度に応じて整備の促進に努めます。
- 土砂災害の危険性の高い場所での砂防工事を促進します。

【流域治水の実現】

- 流域治水の考え方にに基づき、「木曾川水系揖斐川流域治水プロジェクト」の実現に努めます。
- ハード面の対策として、洪水氾濫・内水氾濫対策を行うとともに、河川敷のグリーンインフラとしての機能(雨水・流水の貯留機能等)の向上等に努めます。
- ソフト面の対策として、WEB アプリによる防災・避難情報の発信や自主防災組織に対する防災講和の継続に努めるとともに、防災教育や水防訓練を充実させ、避難体制の強化等を推進します。

【強靱な市街地の形成】

- 海津市地域強靱化計画等に基づく取組を実施・促進しつつ、長期的視点で災害リスクが小さい安全な場所での都市機能の立地や居住の促進等について検討します。
- 民間の住宅・建築物の耐震化・不燃化の促進や消火体制の整備に努めるとともに、老朽空家等の建物の所有者に対し適切な管理や除却を求めていきます。
- 狭隘道路・狭隘区間、行き止まり道路の解消及び 2 方向避難の確保等に努めます。
- 防犯に配慮した公共施設の整備、防犯カメラ、防犯灯や街路灯の設置などを進め、防犯性の高い環境づくりに努めます。

【避難所・避難場所の充実】

- 水害時における垂直避難の確保に向け、小中学校等の公的な中層建築物の均衡ある配置を維持するほか、民間の中高層建築物の確保に努めます。
- 既存の避難所等では、計画的に耐震化・不燃化等を実施していきます。
- 民間の高齢介護施設や障がい者施設等と災害連携協定を締結し、福祉避難所の拡充を図ります。

【災害時の道路ネットワークの確保】

- (国)258 号の 4 車線化を国に働きかけます。
- 緊急輸送道路の拡幅等の機能強化及び緊急輸送道路区間における橋梁の維持管理の徹底や必要に応じた架け替えを促進します。
- 地震による避難経路分断のおそれがある危険箇所の把握に努めます。

【災害復興の円滑化】

- 自主防災組織の結成を推進し、被災時における体制や手順の明確化に努めるとともに、地域住民との協働による事前復興まちづくり計画の策定を検討します。

【地域づくり方針図】

